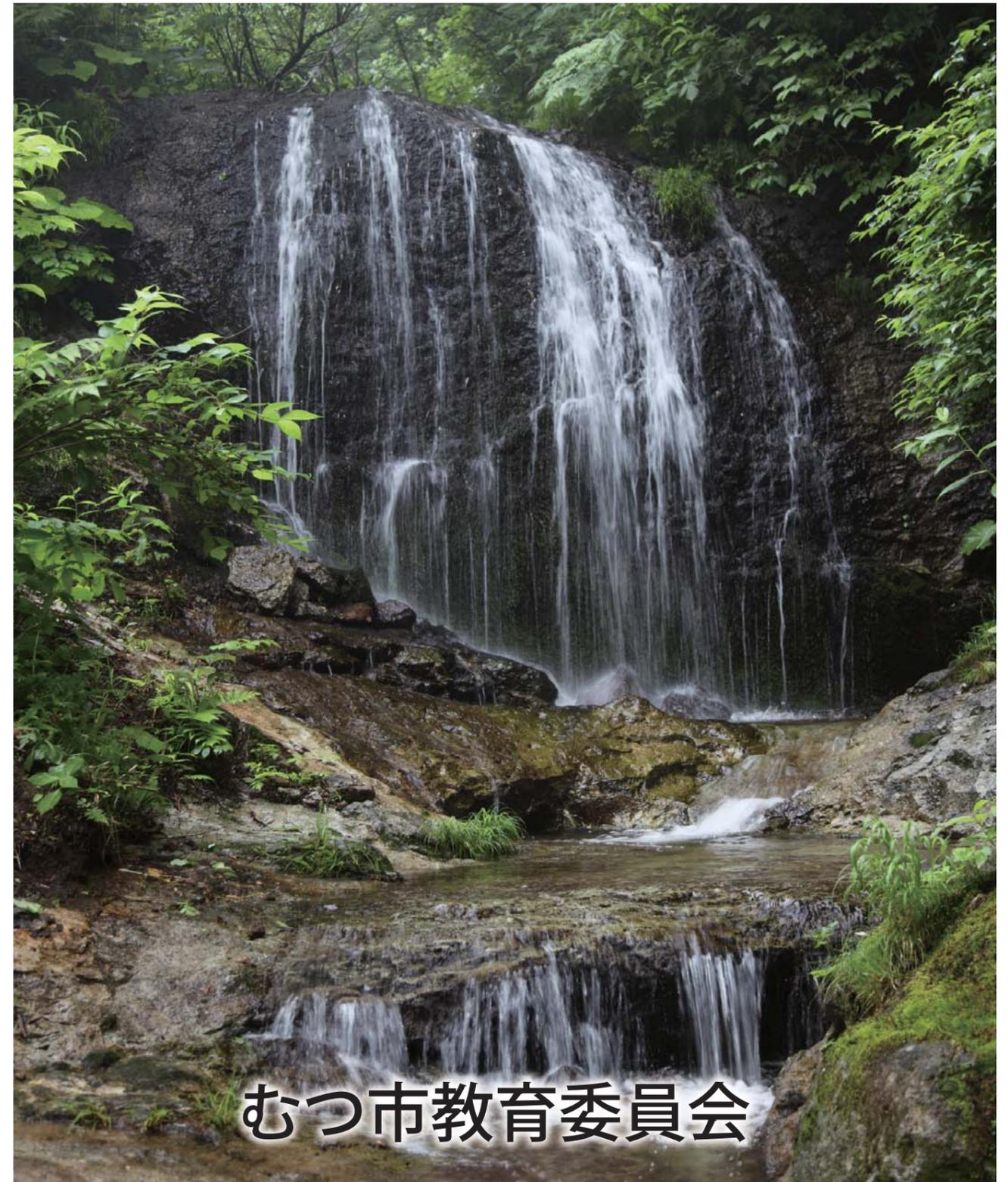


# 平成 27 年度 むつ市教育委員会の事務の 点検及び評価に関する報告書 — 平成 26 年度の実績 —

平成 27 年度  
むつ市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書  
(平成 26 年度の実績)



むつ市教育委員会

平成 27 年度  
むつ市教育委員会の事務の点検及び  
評価に関する報告書  
— 平成 26 年度の実績 —

編 集 むつ市教育委員会総務課  
発 行 むつ市教育委員会  
発行年月 平成 27 年 8 月

## まえがき

おつ市教育委員会は、次の時代に引き継いでいくための人づくりと、地域における特色ある文化を大切に育てていくためには、生き生きとした人々が地域にあふれ、様々な活動に取り組むことを支える教育を充実させていくことが重要であると考え、教育施策の充実に努めております。

こうした取組につきましては、これまでも様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきたところですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法律改正を受け、おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を高め、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育基本計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成27年8月

おつ市教育委員会

# 目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇むつ市教育基本計画	3
<b>1 ア 教育環境の整備促進</b>	
（重点項目）	
（1）学校規模の適正化	4
（2）安全・安心な学校施設の整備	5
<b>1 イ 活力ある学校教育の推進</b>	
（重点項目）	
（1）教職員の適正・適切な配置	8
（2）通学区域制度の適切な運用及び再編	9
（3）学校規模の適正化に係る研究・検討	9
（4）就学困難な児童生徒等に係る就学援助	9
（5）学校評議員制度の充実	11
（6）幼稚園への就園奨励	11
（7）奨学金制度の充実	12
（8）学校保健の充実	12
（9）学校給食の充実	15
<b>2 生涯学習の推進 文化の充実</b>	
（重点項目）	
（1）生涯学習推進体制の整備と充実	18
（2）家庭・学校・地域の連携促進	21
（3）芸術・文化活動の奨励と振興	22
（4）郷土の文化遺産の保護・保存と活用	23
（5）社会教育施設の整備	26
（6）むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	27
（7）むつ市下北自然の家の運営	28
<b>3 生きる力を育む学校教育の推進</b>	
（重点項目）	
（1）小中一貫教育の充実	29
（2）質の高い教育課程の創造	30

(3) 学力向上対策の充実	3 1
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	3 2
(5) 特別支援教育体制の充実	3 3
(6) 教育相談活動の充実	3 4
(7) 国際化に対応する教育の推進	3 6
(8) 教育研修センター講座等の充実	3 8
(9) 弘前大学教育学部との連携強化	3 8
(10) 文化・交流事業の充実	4 0

#### 4 公民館活動の推進

(重点項目)

(1) 公民館の適正管理と運営の充実	4 3
(2) 公民館事業の推進	4 6
(3) 社会教育団体等の育成支援	5 1
(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	5 4
(5) 視聴覚ライブラリーの充実	5 5

#### 5 地域の教育・文化の向上発展

(重点項目)

(1) 図書館施設の適正管理	5 7
(2) 図書館サービス活動の充実	5 8
(3) 利用者ニーズに即した資料整備	6 2
(4) 子どもの読書活動の推進	6 3

◇点検・評価対象一覧	6 5
------------	-----

## ◇ 点検・評価に当たって

### 1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育基本計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

#### (2) 点検・評価の対象

平成26年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために平成26年度に実施した具体的な取組（全109事業、65ページ以降に点検・評価対象一覧として掲載）を点検対象として、その点検結果を踏まえ、各重点項目（全37項目）ごとに自己評価を行いました。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、報告書の作成を行いました。

なお、いただいた意見のほとんどは報告書に反映させておりますが、今年度反映できなかった一部の意見については、来年度以降、引き続き検討を行うこととしています。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は〔1 ア 教育環境の整備促進〕、〔1 イ 活力ある学校教育の推進〕、〔2 生涯学習の推進、文化の充実〕、〔3 生きる力を育む学校教育の推進〕、〔4 公民館活動の推進〕、〔5 地域の教育・文化の向上発展〕の5つの施策ごとに構成されています。

#### (2) 重点項目の点検（平成26年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

#### (3) 重点項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

各重点項目について、具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、成果・課題等を評価しています。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆平成27年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
二本柳 信行	むつ市連合PTA会長
松本 淳	元 苫生小学校長
渡邊 悟	元 むつ市企画部長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回点検・評価アドバイザー会議（平成27年8月3日）  
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について  
・点検及び評価の実施方法に関する意見について  
・説明担当課：総務課（総務グループ、学務グループ、施設健康グループ）  
学校教育課
- ・第2回点検・評価アドバイザー会議（平成27年8月4日）  
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について  
・点検及び評価の実施方法に関する意見について  
・説明担当課：生涯学習課、中央・川内・大畑・脇野沢公民館、図書館

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・専門用語には注釈をつける等、市民にわかりやすい表現に改めること。
- ・計画と実績を対比させ、比較できるように表記すること。また、成果と課題についても解りやすい表現に改めること。
- ・文章、語句等において、報告書として提出するに当たり、より適切な表現とするようにアドバイスがあった。

〈次年度以降、引き続き検討することとした主な意見〉

- ・実績欄には、実際に行われた事業がどのようなものであったか解るように記載すること。
- ・記載する文章は短く簡素なものとし、また報告書の構成、ページレイアウト等については、毎年度見直しを加え、市民にわかりやすい報告書となるよう努めること。
- ・その他、教育行政全般にわたり、適切なアドバイスがあった。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ◇おつ市教育基本計画

### 【基本方針】

おつ市教育委員会は、「人と自然が輝く やすらぎと活力の大地 陸奥の国」を目指し、人間尊重の精神を再考し、生涯学習の基本的な使命を追求する。特に一人一人の自己実現、個人の資質・能力の向上、国際社会の一員として生き抜く人間像を志向して、健康で自ら学ぶ意欲を持ち、創造的で実践力に富む、おつ市民の育成に努める。

次の世代を担っていく若者を育成するために、基礎・基本の徹底と確かな学力の定着を図り、生きる力と夢を育む学校教育を実現し、生涯にわたる基盤づくりを推進する。併せて一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育を通して、人間性や社会性など豊かな心と健やかな体を育成する。

また、この変化の速い社会経済情勢をよく考え、市民相互のふれあいや自然との融合を考えた多彩な文化創造を推進する。

# 1 ア 教育環境の整備促進（担当課：総務課総務グループ・施設健康グループ）

## 【重点項目】

- (1) 学校規模の適正化
- (2) 安全・安心な学校施設の整備

### (1) 学校規模の適正化

事業名	児童生徒通学輸送事業		
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。		
計画	下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。 関根地区（烏沢） 奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢） 大湊地区（角達・城ヶ沢） 川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川） 大畑地区（小目名・赤川） 脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢） ※ 計画人数：268人	実績	輸送時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。 関根地区：14人 奥内地区：37人 大湊地区：34人 川内地区：80人 大畑地区：62人 脇野沢地区：32人 ※ 実績人数：259人
予算	予算総額 79,598,268 円 (内訳) バス委託料 関根地区 5,883,840 円 奥内地区 12,778,560 円 大湊地区 10,466,496 円 川内地区 20,088,000 円 大畑地区 15,279,840 円 脇野沢地区 15,101,532 円	決算	決算総額 78,743,016 円 (内訳) バス委託料 関根地区 5,832,000 円 奥内地区 12,687,840 円 大湊地区 10,361,736 円 川内地区 19,686,240 円 大畑地区 15,163,200 円 脇野沢地区 15,012,000 円

### 【成果】

輸送時の事故はなく、安全な輸送を行うことができた。今後も児童生徒の安全を第一に考えた輸送に努める。

### スクールバス運行経路

地区	運行区間
関根地区	烏沢～出戸～関根小
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小
大湊地区	大川目～角達～大湊中～大湊小
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・川内中 蛸崎～宿野部～川内小・川内中 湯野川～安部城～川内小・川内中
大畑地区	赤坂～関根橋～正津川～大畑小～大畑中 赤川～大畑小～大畑中
脇野沢地区	源藤城～脇野沢小～脇野沢中 九艘泊～脇野沢中～脇野沢小 小沢～深石～脇野沢小～脇野沢中

### 【課題】

スクールバスの乗車対象は統合（閉校）した学校の学区に住む児童生徒であるが、対象以外の児童生徒からも学校まで遠いのでスクールバスに乗車させてほしいとの要望がある。希望する児童生徒全てをスクールバスに乗車させると、民間業者の圧迫につながりかねないため、スクールバス運行の趣旨を明確に周知する必要がある。

また、運行委託を行っている川内・脇野沢地区の市有バスが老朽化しており、車両の更新か貸切バスの全面委託か、今後の方策を考える時期に来ている。

(2) 安全・安心な学校施設の整備

事業名		脇野沢小学校建設事業	
概要	脇野沢小学校は、昭和43年に建設された鉄筋コンクリート造二階建ての校舎で、耐震補強優先度調査で最優先と判定され、構造及び設備は劣悪な状況にある。脇野沢中学校に小学校校舎を増築し、教育環境の整備と、併設型による小中一貫教育の実施により学力の向上を図る。屋内運動場については既存の中学校のものを併用することから建設しない。		
計画	地質調査 実施設計	実績	地質調査 実施設計
予算	予算総額 27,591,800 円 (内訳) 地質調査 3,880,400 円 実施設計 23,711,400 円	決算	決算総額 24,300,000 円 (内訳) 地質調査 2,700,000 円 実施設計 21,600,000 円

事業名		関根中学校建設事業	
概要	関根中学校は、昭和38年に建設された木造二階建ての校舎で、老朽化が著しく雨漏りや冬期間には雪が吹き込むなど、施設の環境は劣悪な状況にある。関根小学校に中学校校舎を増築し、教育環境の整備と、併設型による小中一貫教育の実施により学力の向上を図る。屋内運動場については既存の小学校のものを併用することから建設しない。		
計画	平成24年度 用地測量 平成25年度 基本計画 平成26年度 耐力度調査	実績	平成24年度 用地測量 平成25年度 基本計画 平成26年度 耐力度調査
予算	予算総額 2,469,000 円 (内訳) 耐力度調査 2,469,000 円	決算	決算総額 2,268,000 円 (内訳) 耐力度調査 2,268,000 円



脇野沢小学校 外観イメージパース



脇野沢小学校 内部イメージパース

事業名	小・中学校非構造部耐震化調査改修事業		
概要	市内小学校13校、中学校9校の吊り天井などの非構造部材について調査し、耐震化を実施することで学校施設の安全及び防災向上を図る。 屋内運動場の吊り天井等、非構造部材耐震化の必要がある6校（三田小、奥内小、大平小、大湊小、大平中、大湊中）の改修計画設計を実施する。		
計画	耐震化調査 改修設計	実績	耐震化調査 改修設計
予算	予算総額 15,499,080 円 (内訳) 耐震化調査 9,088,200 円 改修設計 6,410,880 円	決算	決算総額 15,228,000 円 (内訳) 耐震化調査 8,208,000 円 改修設計 7,020,000 円

事業名	その他小中学校の施設・設備の整備事業（大平中学校講堂屋根改修工事）		
概要	平成5年建設の大平中学校講堂の屋根は、経年劣化が著しいため、必要な改修工事を行い、良好な学校環境を整備する。		
計画	講堂屋根改修工事	実績	講堂屋根改修工事
予算	予算総額 20,962,800 円 (内訳) 改修工事 20,962,800 円	決算	決算総額 20,196,000 円 (内訳) 改修工事 20,196,000 円

【成果】

- ・脇野沢小学校建設事業は実施設計が3月20日に完了し、校舎は鉄骨造平屋717.02㎡、外部物置は木造平屋39.74㎡となった。脇野沢小学校PTCA及び中学校PTAアンケートでは、遊具、屋上、洋式トイレが欲しいなど83名から335件の要望が届いた。
- ・関根中学校建設事業は耐力度調査が9月12日に完了し、文部科学省の補助対象の根拠となる報告書が完成した。
- ・小中学校非構造部耐震化調査改修事業は改修設計が3月20日に完了し、6校の改修工事設計書が完成した。
- ・大平中学校講堂屋根改修工事は10月3日に完了し、安全な学校運営が可能となった。

【課題】

- ・脇野沢小学校建設事業及び非構造部材耐震化事業は、学校を使用しながらの工事となるため学校行事や安全に配慮した計画としなければならない。
- ・関根中学校建設事業実施設計については、平成27年度は繰り延べとなったが、中長期的に、地域コミュニティの拠点としても活用できるよう、防災・保育・地域交流機能などの仕様を見直す必要がある。
- ・施設・設備の整備事業については、施設の長寿命化を図りつつ効率的な改修に努める必要がある。



小・中学校非構造部耐震化調査改修事業  
大湊中学校講堂天井改修



その他小中学校の施設・設備の整備事業  
大平中学校講堂屋根改修工事

事業名	小学校教育用パソコン更新事業		
概要	市内小学校13校の教育用パソコン(PC)及びソフトウェアは、平成18年度から21年度にかけて整備したものであるが、インストールされている基本ソフト(OS:WindowsXP)のサポートが平成26年4月をもって終了となり、インターネット接続時のセキュリティに問題が生じることとなるため、小学校に設置されている教育用PCの更新を行う。 ※中学校の教育用PCの更新については平成25年度に完了した。		
計画	サーバー(本体・ディスプレイ) 13台 PC本体 398台 インクジェットプリンタ 16台 レーザープリンタ 16台 授業支援ソフト及び教育用統合ソフト一式 (H25.5.1時点の生徒数で積算)	実績	サーバー(本体・ディスプレイ) 13台 PC本体 401台 インクジェットプリンタ 16台 レーザープリンタ 16台 授業支援ソフト及び教育用統合ソフト一式 (H26.5.1時点の生徒数で積算)
予算	予算総額 77,123,360 円 (内訳) 旅費 82,360 円 PC及び周辺機器購入費 41,783,000 円 ソフトウェア購入費 35,258,000 円	決算	決算総額 51,985,497 円 (内訳) 旅費 0 円 PC及び周辺機器購入費 25,598,052 円 ソフトウェア購入費 26,387,445 円

事業名	川内小学校校旗更新事業		
概要	川内小学校は、平成23年に第一川内小学校に第二川内小学校が統合される形で学校名を改称した。しかし、校旗についてはその後も「川内町立第一川内小学校」のまま使用していたが、老朽化が激しいことから更新する。		
計画	〈仕様〉 旗サイズ 65cm×100cm 刺繍 本金銀糸盛上げ美術手刺繍	実績	「むつ市立川内小学校」に変更した、左記仕様の校旗を、平成26年11月26日に学校へ納品できた。
予算	予算総額 1,458,000 円 (内訳) 校旗購入費 1,458,000 円	決算	決算総額 982,800 円 (内訳) 校旗購入費 982,800 円

#### 【成果】

小学校PC更新事業では、4月にOSのサポートが終了したが、更新までの期間中、脆弱対策オプションを使用したセキュリティ対策を行い、また切替期間には生徒の学習への影響が最小限となるように、夏期休業中の短期間での更新ができた。

また、川内小校旗更新事業は、かねてから学校・地域住民から要望があったもので、平成26年度中に更新を完了することができた。

# 1 イ 活力ある学校教育の推進（担当課：総務課学務グループ・施設健康グループ）

## 【重点項目】

- (1) 教職員の適正・適切な配置
- (2) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (3) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (5) 学校評議員制度の充実
- (6) 幼稚園への就園奨励
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

### (1) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他人事管理		
概要	より良い教育環境創出のため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。</li> <li>・代替教員の配置を適正に行う。</li> <li>・服務規律の確保の徹底を図る。</li> </ul>	実績	<p>人事異動については、概ね適正な配置が行われた。</p> <p>代替教員の配置については、概ね適正な配置ができたものの人材不足のため配置が遅れたり、配置できない学校もあった。</p>

### 【成果】

人事異動方針に則り、概ね適正な教職員の配置が行われた。

### 【課題】

- ・人材不足によって、年度途中の病休等の代替教員を配置できない学校があった。配置できなかった教員は養護教諭であり、当該学校では養護教諭が複数配置されていたことから、一人に対応してもらった。今後も、県教委と連携し人材確保に努める必要がある。
- ・教諭の不足により本来なら教諭が配置されるべきところへ、臨時講師で対応している学校もあるため、教諭の採用増が望まれる。
- ・通常学級に在籍する個別指導が必要な児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。現在は、市のスクールサポーター等で対応はしているものの、教科指導のできる教員の増員が望まれる。
- ・平成23年度より、法改正による小学校第1学年の35人学級が実施されているが、青森県においては、あおもりっ子育みプランにより、小学校第1学年から第3学年まで及び中学校第1学年の33人学級が実施されている。このように少人数学級の編制が推進されてきたものの、さらにきめ細かい教育を推進するためには、上位学年にも少人数学級の実現が望まれる。
- ・平成26年度は、教職員の重大な服務規律違反はなかったものの、交通違反については後を絶たない状況にあるため、引き続き服務規律の確保の徹底を強く指導していく必要がある。

(2) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会		
概要	市立の小・中学校に就学する児童・生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
計画	必要に応じて行う。	実績	なし

【課題】

県内有数のマンモス校となっている田名部中学校について、今後の生徒数の減少傾向及び同校へ入学する各小学校の通学区域と併せて、慎重に調査・協議していく必要がある。

※平成26年5月1日現在：生徒数724名・学級数24クラス（特別支援学級3クラスを含む。）

(3) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校統合のための地域説明会等の開催		
概要	むつ市教育プランに沿ったよりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。		
計画	必要に応じて行う。	実績	なし

【課題】

平成27年1月に文部科学省が策定した「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」で示された統合について、速やかに検討する必要があるとする、複式学級が存在する学校が小学校5校、クラス替えのできない学校が小学校2校、中学校5校となっている。

教育委員会としては、児童生徒の教育条件の改善の観点を第一義に、学校統廃合の方針を考えていかなければならない。

(4) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、修学旅行費を給付し就学の援助を図る。（生活保護受給世帯）		
計画	対象者 26人 支給額 1,755,000円	実績	対象者 25人 支給額 1,602,000円
予算	予算総額 1,755,000 円 (内訳) 児童分 585,000 円 生徒分 1,170,000 円	決算	決算総額 1,602,000 円 (内訳) 児童分 560,400 円 生徒分 1,041,600 円

事業名	準要保護児童生徒援助事業																																						
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して学用品費等を給付し就学の援助を図る。また、東日本大震災により避難してきた被災児童生徒に対しても、学用品費等を給付し就学の援助を図る。																																						
計画	対象者 459人 支給額 43,302,980円 (うち、被災児童生徒分 7人 支給金額 509,608円)	実績	対象者 457人 支給額 43,239,852円 (うち、被災児童生徒分 7人 支給金額 527,510円)																																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>43,302,980</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>8,146,416</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>1,978,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>8,100,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>501,300</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>24,577,264</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	43,302,980	円	(内訳) 学用品費	8,146,416	円	新入学学用品費	1,978,000	円	修学旅行費	8,100,000	円	校外活動費	501,300	円	給食費	24,577,264	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>43,239,852</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>8,340,373</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>1,494,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>7,917,645</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>307,999</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>25,179,835</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	43,239,852	円	(内訳) 学用品費	8,340,373	円	新入学学用品費	1,494,000	円	修学旅行費	7,917,645	円	校外活動費	307,999	円	給食費	25,179,835	円
予算総額	43,302,980	円																																					
(内訳) 学用品費	8,146,416	円																																					
新入学学用品費	1,978,000	円																																					
修学旅行費	8,100,000	円																																					
校外活動費	501,300	円																																					
給食費	24,577,264	円																																					
決算総額	43,239,852	円																																					
(内訳) 学用品費	8,340,373	円																																					
新入学学用品費	1,494,000	円																																					
修学旅行費	7,917,645	円																																					
校外活動費	307,999	円																																					
給食費	25,179,835	円																																					

事業名	特別支援教育就学奨励事業																																												
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。																																												
計画	対象者 93人 支給額 4,328,105円	実績	対象者 69人 支給額 3,077,834円																																										
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>4,328,105</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>738,750</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>271,250</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>417,100</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>176,885</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>135,360</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>2,588,760</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	4,328,105	円	(内訳) 学用品費	738,750	円	新入学学用品費	271,250	円	修学旅行費	417,100	円	校外活動費	176,885	円	通学費	135,360	円	給食費	2,588,760	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>3,077,834</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>540,966</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>173,545</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>267,240</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>70,490</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>139,200</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>1,886,393</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	3,077,834	円	(内訳) 学用品費	540,966	円	新入学学用品費	173,545	円	修学旅行費	267,240	円	校外活動費	70,490	円	通学費	139,200	円	給食費	1,886,393	円
予算総額	4,328,105	円																																											
(内訳) 学用品費	738,750	円																																											
新入学学用品費	271,250	円																																											
修学旅行費	417,100	円																																											
校外活動費	176,885	円																																											
通学費	135,360	円																																											
給食費	2,588,760	円																																											
決算総額	3,077,834	円																																											
(内訳) 学用品費	540,966	円																																											
新入学学用品費	173,545	円																																											
修学旅行費	267,240	円																																											
校外活動費	70,490	円																																											
通学費	139,200	円																																											
給食費	1,886,393	円																																											

### 【成果】

- ・基本的には前年度の収入により認定されるが、離婚や傷病による就労不能等に柔軟に対応しており、援助が必要な家庭のほとんどが支給対象となっていると思われる。
- ・市防災政策課と連携を図り、避難してきた被災児童生徒の把握に努め、学用品費等を給付し、就学の援助を図ることができた。
- ・学校における現金取扱の事務負担の軽減と不正防止の観点から、学用品費については保護者の口座へ直接振り込むこととしていたが、諸費滞納者への対応として、必要に応じて学校へ振り込む方法を取り入れた。

### 【課題】

準要保護児童生徒援助事業の認定基準や支給費目の拡大、新入学学用品費の早期支給に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているため、検討していく必要がある。

(5) 学校評議員制度の充実

事業名	学校評議員の管理		
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域との連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために学校評議員を配置する。		
計画	評議員数 95人 会議開催 66回 (3回×22校)	実績	評議員数 90人 会議開催 61回
予算	予算総額 1,840,000 円 (内訳) 評議員報酬 1,140,000 円 費用弁償 700,000 円	決算	決算総額 1,632,184 円 (内訳) 評議員報酬 1,019,000 円 費用弁償 613,184 円

【成果】

各校とも3～5人の学校評議員を任命し、ほとんどの学校で年3回の会議を開催して評議員の意見を聴き、学校経営に反映させている。

【課題】

当市では平成13年度より学校評議員制度を導入しているが、評議員の再任が3年までとなっているため、小規模校では新たな人材の確保に苦慮している。今後については、学校評議員取扱要綱の見直しに向けて検討する必要がある。

(6) 幼稚園への就園奨励

事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業		
概要	幼稚園教育の振興を図る目的で、それぞれの世帯の所得に応じて、保育料等を減免措置した幼稚園設置者に対し、就園奨励費として補助する。		
計画	対象者 612人 補助金額 84,210,800円	実績	対象者 599人 補助金額 76,463,000円
予算	予算総額 84,210,800 円 (内訳) 補助金 84,210,800 円	決算	決算総額 76,463,000 円 (内訳) 補助金 76,463,000 円

【成果】

市内8園全てが対象事業を行っており、該当者には全て減免措置が図られた。

【課題】

平成27年度より子ども子育て支援新制度が実施されることに伴い、特段の申し出がない限り既存の私立幼稚園は新制度へ移行することになる。今後も幼稚園の方針変更により当事業の対象園が変動するため、その動向の把握に努め対応したい。

(7) 奨学金制度の充実

事業名		奨学金の貸与・返還の管理	
概要	<p>当市の人材育成のために修学上必要な学費の一部を貸与し、貸与が終了した者については返還の手続きを行う。また、滞納者に対する督促のための手続きを行う。寄附金や預貯金により発生した利子を基金に繰り入れ、育英基金の適正な管理運営に努める。</p>		
計画	<p>貸与 46,440,000円</p> <p>返還 現年度分 48,006,000円 滞納分 25,755,500円</p>	実績	<p>貸与 39,810,000円 高校：8人、大学等：108人</p> <p>返還 現年度分 46,160,000円 滞納分 3,946,500円 (現年度分には残金一括払分を含む)</p> <p>・文書督促 本人 53件 保護者 57件 連帯保証人 40件</p> <p>・訪問督促 17件</p>
予算	<p>予算総額 94,339,000 円 (内訳) 貸付金 46,380,000 円 基金積立金 47,959,000 円</p>	決算	<p>決算総額 94,405,563 円 (内訳) 貸付金 39,810,000 円 基金積立金 54,595,563 円</p>

【成果】

文書督促に加え、訪問督促を行い納付誓約をしてもらい、前年度には満たないものの大口の滞納分を回収することができた。  
※返還金収納率 現年度分91.94%(前年92.49%)・滞納分15.32%(前年20.35%)

【課題】

- ・奨学生の募集では、全ての募集枠で定員を下回った。また、募集期間後に問い合わせがあったケースがあり、募集告知方法の検討が必要である。
- ・入学時、一時金として支給してほしい、連帯保証人になってくれる人がいない等の相談が窓口寄せられている。また、市議会及び奨学生選考委員から給付型奨学金を創設について意見が出されていることから、これらを検討していく必要がある。
- ・返還金滞納分が例年10数%の収納率となっている。督促に応じない滞納者や連絡の取れない滞納者もいることから、さらなる徴収対策が必要である。

(8) 学校保健の充実

事業名		健康診断委託事業	
概要	<p>学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期的を実施する。</p>		
計画	<p>対象児童生徒数： 4,773人 対象教職員数： 440人</p>	実績	<p>受診児童生徒数： 4,724人 受診教職員数： 292人 ※教職員の未受診者は当事業以外の人間ドックを受診している。</p>
予算	<p>予算総額 9,356,000 円 (内訳) 委託料 9,356,000 円</p>	決算	<p>決算総額 8,050,268 円 (内訳) 委託料 8,050,268 円</p>

事業名		学校医委託事業	
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医 児童生徒400人以下 @226,000円×13人</li> <li>児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人</li> <li>児童生徒701人以上 @339,000円×1人</li> <li>・学校歯科医 児童生徒数500人以下 @224,000円×15人</li> <li>児童生徒数501人以上 @291,200円×4人</li> <li>・学校薬剤師 @157,000円×22人</li> <li>・産業医 教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> <li>・眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診)</li> <li>眼科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> <li>耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医 児童生徒400人以下 @226,000円×13人</li> <li>児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人</li> <li>児童生徒701人以上 @339,000円×1人</li> <li>・学校歯科医 児童生徒数500人以下 @224,000円×15人</li> <li>児童生徒数501人以上 @291,200円×4人</li> <li>・学校薬剤師 @157,000円×22人</li> <li>・産業医 教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> <li>・眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診)</li> <li>眼科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> <li>耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人</li> <li>耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人</li> </ul>
予算	予算総額 15,942,000 円 (内訳) 委託料 15,942,000 円	決算	決算総額 15,941,400 円 (内訳) 委託料 15,941,400 円

事業名		学校災害児童生徒医療費給付事業	
概要	保護者の同意を得て児童生徒との間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	日本スポーツ振興センター 災害共済掛金 一般： 945円 準要保護： 715円 要保護： 55円	実績	日本スポーツ振興センター災害共済 加入者： 4,724人 災害発生件数： 438件 医療費給付額： 5,540,291円 障害見舞金額： 820,000円
予算	予算総額 4,438,000 円 (内訳) 負担金 4,438,000 円	決算	決算総額 4,349,185 円 (内訳) 負担金 4,349,185 円



		単位	小 学 校						中 学 校				
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
男 子	むつ市	受検者数	220	240	245	241	282	289	1,517	256	287	271	814
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	14	19	17	11	21	30	112	16	16	13	45
		中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	6	7	15	21	28	19	96	20	23	22	65
		高度肥満 (肥満度50%以上)	2	7	9	7	11	5	41	6	11	13	30
		肥満計	22	33	41	39	60	54	249	42	50	48	140
		肥満傾向児出現率	10.00	13.75	16.73	16.18	21.28	18.69	16.41	16.41	17.42	17.71	17.20
	青森県肥満傾向児出現率	6.25	6.79	14.36	12.45	13.84	14.11	/	13.24	13.10	10.09	/	
	全国肥満傾向児出現率	4.34	5.45	7.57	8.89	9.72	10.28	/	10.72	8.94	8.16	/	
女 子	むつ市	受検者数	238	258	237	250	266	283	1,532	296	263	296	855
		軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	13	12	19	12	17	12	85	25	26	19	70
		中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	7	17	16	11	15	28	94	20	15	14	49
		高度肥満 (肥満度50%以上)	1	4	5	8	6	3	27	12	7	14	33
		肥満計	21	33	40	31	38	43	206	57	48	47	152
		肥満傾向児出現率	8.82	12.79	16.88	12.40	14.29	15.19	13.45	19.26	18.25	15.88	17.78
	青森県肥満傾向児出現率	9.13	11.05	11.06	11.67	12.66	12.80	/	9.62	13.72	11.81	/	
	全国肥満傾向児出現率	4.15	5.41	6.24	7.36	8.40	8.56	/	7.97	7.89	7.68	/	

※出典：平成26年度学校保健調査、むつ市学校保健会報第37号

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。  
 肥満度＝(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100(%)

### (9) 学校給食の充実

事業名	学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場11施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。	
計画	直営施設の共同調理場2施設及び単独調理場11施設の維持管理、並びに共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食の提供を行う。	実績 直営13施設の維持管理費 ・賃金 臨時職員29人 39,009,954円 ・燃料費等 15,417,125円 ・消耗品費 7,747,612円 ・修繕費 1,251,053円 ・検査手数料等 2,019,902円 ・負担金等 64,700円 ・脇野沢地区運搬業務委託 3,240,000円 北通地区学校給食調理・運搬業務委託 ・調理・運搬業務委託 43,100,000円
予算	予算総額 118,235,000 円 (内訳) 賃金 43,563,000 円 需用費 25,329,000 円 役務費 2,109,000 円 委託料 47,164,000 円 負担金 44,000 円 公課費 26,000 円	決算総額 111,850,346 円 (内訳) 賃金 39,009,954 円 需用費 24,415,790 円 役務費 2,019,902 円 委託料 46,340,000 円 負担金 39,500 円 公課費 25,200 円

事業名		学校給食衛生管理事業	
概要	学校給食運営に係る給食施設の衛生管理を行う。また、「安全・安心」な給食を提供するために必要な知識等の習得のために研修会へ参加する。		
計画	研修会への参加 ・学校給食関係者夏季研修会  ・学校給食調理従事員衛生管理研修会  ・ノロウィルス食中毒の知識と対策講習会  給食施設の衛生管理 ・厨房排水設備の清掃 第一田名部小、第三田名部小 田名部中、大平中	実績	研修会への参加 ・学校給食関係者夏季研修会 主 催：下北地区学校給食連絡協議会 開催日：平成26年 8 月 7 日 場 所：むつ市 参加者：40人 ・学校給食調理従事員衛生管理研修会 主 催：青森県教育委員会 開催日：平成26年 8 月 5 日 場 所：青森市 参加者：16人 ・ノロウィルス食中毒の知識と対策講習会 主 催：公益社団法人 日本食品衛生協会 開催日：平成26年10月28日 場 所：むつ市 参加者：8人 給食施設の衛生管理 ・厨房排水設備の清掃 第一田名部小、第三田名部小 田名部中、大平中
予算	予算総額 507,000 円 (内訳) 役 務 費 160,000 円 委 託 料 346,000 円 公 課 費 1,000 円	決算	決算総額 505,440 円 (内訳) 役 務 費 159,840 円 委 託 料 345,600 円 公 課 費 0 円

事業名		学校給食厨房機器・用具整備事業	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数を超過した調理機器を修繕又は購入し、学校給食機器・用具の整備を図る。		
計画	・現有設備の修繕及び調整 ・厨房機器点検手数料 ・老朽機器の更新	実績	・現有設備の修繕及び調整 28件 1,179,714円 ・厨房機器点検手数料 6件 39,528円 ・老朽機器の更新 6件 605,394円
予算	予算総額 2,128,000 円 (内訳) 需 用 費 1,333,000 円 役 務 費 173,000 円 備品購入費 622,000 円	決算	決算総額 1,824,636 円 (内訳) 需 用 費 1,179,714 円 役 務 費 39,528 円 備品購入費 605,394 円

事業名		学校給食設備整備事業	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数を超過した調理機器を購入し、学校給食機器、設備の整備を図る。		
計画	老朽機器の更新 ・冷蔵庫 1基 (田名部中) ・牛乳保冷庫 2基 (関根小、関根中)  ・回転釜 2基 (苫生小、むつ中) ・ピーラー 1基 (第二田名部小)	実績	老朽機器の更新 10件 1,997,636円 ・冷蔵庫 2基 (田名部中、大平中) ・牛乳保冷庫 2基 (関根小、関根中) ・冷凍庫 1基 (第一田名部小) ・回転釜 2基 (苫生小、むつ中) ・ピーラー 1基 (第二田名部小) ほか
予算	予算総額 2,414,000 円 (内訳) 備品購入費 2,414,000 円	決算	決算総額 1,997,636 円 (内訳) 備品購入費 1,997,636 円

#### 【成果】

児童生徒への安全・安心な給食を提供するために、調理従事者の安全管理及び衛生管理に努めた。

#### 【課題】

各調理施設にある多くの機器は、耐用年数が過ぎているため、故障が多く修繕費がかさんでいる状況にある。また、多くの機器は部品の保証期間が過ぎており、部品補償が受けられないことから、抜本的な修繕ができず、臨時的な対処にならざるを得ない状況にある。給食の安定した提供のためにも、老朽機器の更新を前倒して進める必要がある。

また、ノロウィルスの集団感染や食中毒予防のためにも、調理場及び学校内での衛生管理の維持が課題となっているが、現在の調理場は老朽化した施設が多く、衛生環境の維持に苦慮している状況である。

近年、食物アレルギーを有する児童・生徒が多く、事故防止のための対応を行っているものの、現在の調理場では独立した調理スペースを確保できず、アレルギー対策としては十分とは言えない状況である。

このように衛生環境の維持の観点からも調理場の大規模な改修や、新たな調理場の建設等を検討する必要がある。

## 2 生涯学習の推進 文化の充実（担当課：生涯学習課）

### 【重点項目】

- (1) 生涯学習推進体制の整備と充実
- (2) 家庭・学校・地域の連携促進
- (3) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (4) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用
- (5) 社会教育施設の整備
- (6) むつ市海と森ふれあい体験館の運営
- (7) むつ市下北自然の家の運営

### (1) 生涯学習推進体制の整備と充実

事業名	社会教育委員の配置		
概要	社会教育法の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員の会議を設置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例による定数：13名以内</li> <li>・ 会議開催回数：年3回</li> <li>・ 下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動</li> <li>・ 青森県社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動</li> <li>・ 委員の資質向上のため、各種研修会への参加</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13名委嘱(内1名年度中欠員) 任期：H25.10.1～H27.9.30</li> <li>・ 社会教育委員の会議：2回開催</li> <li>・ 下北地区社会教育委員連絡協議会総会、研修会(むつ市)：11名参加</li> <li>・ 下北地区社会教育研究大会(風間浦村)：5名参加</li> <li>・ 青森県社会教育研究大会参加(青森市)：4名参加</li> </ul>
予算	予算総額 764,000 円 (内訳) 報酬 481,000 円 費用弁償 266,000 円 消耗品費 6,000 円 負担金補助 11,000 円	決算	決算総額 425,330 円 (内訳) 報酬 266,500 円 費用弁償 143,330 円 消耗品費 4,500 円 負担金補助 11,000 円

事業名	社会教育指導員による学習支援体制の整備		
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、特定分野(青少年・成人教育及び文化財保護)についての直接指導及び学習相談、社会教育関係団体の育成等を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育指導員配置数：1人</li> <li>・ 社会教育に関する調査、研究、資料の収集</li> <li>・ 「むつ市社会教育行政」の作成</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育指導員1人を配置し、社会教育の振興に効果的な役割を果たした。</li> <li>・ 「むつ市社会教育行政」の作成180部作成</li> <li>・ 社会教育団体・サークル情報のホームページへの掲載</li> </ul>
予算	予算総額 1,874,000 円 (内訳) 報酬 1,556,000 円 費用弁償 208,000 円 消耗品費 16,000 円 印刷製本費 94,000 円	決算	決算総額 1,661,261 円 (内訳) 報酬 1,555,200 円 費用弁償 8,473 円 消耗品費 4,428 円 印刷製本費 93,160 円

事業名	弘前大学生涯学習講演会の開催		
概要	弘前大学生涯学習研究センターと連携し、市民に高度で専門的な高等教育機関の学習機会を提供し、生涯学習の振興を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講料無料の公開講演会：年2回 協力団体：まさかり学友会</li> <li>※まさかり学友会： 青森県民カレッジ登録者で、 下北在住者により構成されている 団体の名称</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会開催 テーマ「青森県の縄文遺跡から みえてくること」 第1回 7月5日(土) 参加者32人 第2回 7月12日(土) 参加者46人 協力団体：まさかり学友会 青森県民カレッジ、スキルアップ プログラム単位認定講座</li> </ul>
予算	予算総額 9,800 円 (内訳) 消耗品費 8,000 円 食糧費 1,800 円	決算	決算総額 2,907 円 (内訳) 消耗品費 2,907 円 食糧費 0 円

事業名	成人式の開催		
概要	二十歳を迎える若人を祝福し、将来のむつ市を担う市民としての自覚を促し、有権者としての意識の高揚を図ることを目的として実施する。		
計画	対象：平成6年4月2日から平成 7年4月1日生まれの市内 在住者及び参加希望者 対象者数：668人	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：平成27年1月11日(日)</li> <li>・参加者：432人</li> <li>・内容： オープニングメッセージ ネブタ囃子、よさこいの披露 先輩からのメッセージ むつ市出身著名人によるトーク、 演奏</li> </ul>
予算	予算総額 871,000 円 (内訳) 報償費 555,000 円 旅費 68,000 円 消耗品費 19,000 円 印刷製本費 157,000 円 食糧費 3,000 円 役務費 65,000 円 使用料 4,000 円	決算	決算総額 654,583 円 (内訳) 報償費 350,460 円 旅費 68,520 円 消耗品費 21,415 円 印刷製本費 131,112 円 食糧費 2,400 円 役務費 80,676 円 使用料 0 円

事業名	学習情報提供システムの構築		
概要	市政だより、新聞、ラジオ、インターネット等幅広いメディアを活用し、市民に対し生涯学習の情報を提供する。		
計画	市政だより、市ホームページ及びFMアジュール等を活用し、情報を提供する。	実績	市政だより、市ホームページ及びFMアジュール等により事業案内・学習情報の提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより掲載 延べ12件</li> <li>・FMアジュール案内 延べ4件</li> </ul>

事業名	あおもり県民カレッジ情報の提供		
概要	いつでも、どこでも、自分のペースで学ぶことができるあおもり県民カレッジの単位認定講座の情報提供を行うと共に、公民館等と連携し「学習」「評価」「活用」の各場面を総合的に支援する。		
計画	あおもり県民カレッジと連携を図り、カレッジ登録の学生と併せて、市民に幅広く学習機会を提供する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下北地区学習団体「まさかり学友会」と事業連携を図った。</li> <li>・市政だよりやチラシ等で市民に広く周知した。</li> <li>・認定講座：2講座</li> </ul>

事業名	放送大学むつ校の情報提供、利用充実に向けた講演会の支援		
概要	むつ市立図書館内にある「放送大学青森学習センターむつ校」の利用促進に努め、市民の学習意欲の向上を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送大学についての情報提供</li> <li>・放送大学主催の公開講演会の開催</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより等による放送大学入学生の募集。</li> <li>・公開講演会開催 ※むつ校利用者数：延べ231名</li> </ul>

事業名	自然観察会の開催		
概要	季節毎の自然の営みを観察することで、市民がふるさとの豊かな自然や新たな魅力を知る機会を提供する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の渡り鳥観察</li> <li>・夏の夜の星座観察</li> <li>・夜行生物観察</li> <li>・越冬する野鳥観察</li> </ul>	実績	<p>4月20日 春の野鳥観察 (尻屋崎) 16人</p> <p>6月27日 夏の夜の星座観察 (はらっぱる) 21人</p> <p>8月29日 夜行生物観察 (かわうちまりーんぴーち) 12人</p> <p>1月18日 越冬する野鳥観察 (川内川周辺) 18人</p>
予算	予算総額 81,500 円 (内訳) 報 償 費 80,000 円 食 糧 費 1,500 円	決算	決算総額 50,000 円 (内訳) 報 償 費 50,000 円 食 糧 費 0 円

### 【成果】

- ・社会教育委員からは、市が実施する生涯学習事業等に関して市民ニーズに即した助言や意見を頂戴し、事業に反映することができた。また、社会教育の現状について委員の見識を深めるため、研修会に参加いただき、委員の資質向上が図られた。
- ・社会教育指導員の配置により、学習相談体制や学習機会の提供に大きな役割を果たせた。
- ・普段聴く機会が少ない大学教授等の講演会や、社会教育関係機関と連携した事業や学習機会を提供し、市政だより、ホームページなど多様なメディアを活用し、市民へ情報を提供することができた。
- ・成人式では、参加者の席を自由席にするなどの改善を図ったほか、様々な団体などからの協力により、新成人の思い出になる式典を開催することができた。



成人式の様子

【課題】

- ・各種研修会等で培った見識等を発揮できるよう、社会教育委員の会議のあり方について、検討する必要がある。
- ・市民の学習ニーズの把握に努め、学習プログラムがニーズにマッチしたものか検討する必要がある。



弘前大学生涯学習講演会



自然観察会（春の野鳥観察会）

（２） 家庭・学校・地域の連携促進

事業名	放課後子ども教室推進事業																																
概要	放課後子ども教室は、なかよし会（放課後児童健全育成事業）の保育を主とした事業とは別に、全ての子どもたちを対象（参加に条件なし）に安全・安心な居場所を提供し、地域の大人が見守る中で学習やスポーツなど、多様な体験・活動ができる事業であり、平成19年度から実施している。																																
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回、事業計画の策定やなかよし会（市児童家庭課所管）との情報交換の場として「むつ地域放課後子どもプラン運営委員会」を開催する。</li> <li>・放課後子ども教室を、市内4カ所に開設する。</li> <li>・各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置する。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会：委員11名 会議開催 2回</li> <li>・子ども教室数：4教室 コーディネーターの配置：4名 教育活動サポーターは、登録者22名の中から各教室に配置した。 内容：スポーツ、農園づくり、読み聞かせ、工作等 子ども教室開催回数：476回 参加者数：延べ3,397名</li> </ul>																														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>3,282,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>2,907,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>209,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>137,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>29,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	3,282,000	円	(内訳) 報償費	2,907,000	円	旅費	209,000	円	消耗品費	137,000	円	役員費	29,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>2,621,360</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>2,433,400</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>98,875</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>63,085</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>26,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	2,621,360	円	(内訳) 報償費	2,433,400	円	旅費	98,875	円	消耗品費	63,085	円	役員費	26,000	円
予算総額	3,282,000	円																															
(内訳) 報償費	2,907,000	円																															
旅費	209,000	円																															
消耗品費	137,000	円																															
役員費	29,000	円																															
決算総額	2,621,360	円																															
(内訳) 報償費	2,433,400	円																															
旅費	98,875	円																															
消耗品費	63,085	円																															
役員費	26,000	円																															

【成果】

市内4カ所で放課後子ども教室を実施し、子どもの放課後等の安全・安心な居場所づくりを行った。地域ボランティアの協力を得て、子どもたちに体験活動をさせることができた。また、子どもと地域の方々と交流する良い機会となった。

【課題】

- ・地域ボランティアの確保が難しくなっている。
- ・県からの補助金減額により、運営が厳しくなっている。
- ・学校内での運営場所の確保が難しく、学校から離れた場所で運営しているため、子どもの往復の安全対策が必要である。

(3) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名		むつ市文化団体等支援事業	
概要	むつ市文化団体協議会は、市内の芸術文化団体(44団体)で組織され、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に市民文化祭を開催している。また、「第九の会」などは団体独自の発表会や演奏会等の活動を展開しており、これらの文化芸術団体活動の支援を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民文化祭」などの事業に対し、会場費及び活動費の補助を行う。</li> <li>・民間が行う助成事業の情報提供及び申請手続等の支援を行う。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の助成を活用した事業 「地域住民のためのコンサート 仲道郁代ピアノ・リサイタル」 平成26年7月13日 下北文化会館 入場料を特別料金に設定 入場者数 450人</li> <li>・下北文化会館会場借上助成 第45回むつ市民文化祭 10月30日～11月9日 「第九」演奏会 前日リハーサル・当日</li> <li>・共催・後援 共催承認 1件、後援承認 21件</li> <li>・むつ市文化団体協議会の事業への補助</li> </ul>
予算	予算総額 82,000 円 (内訳) 補助金 82,000 円	決算	決算総額 82,000 円 (内訳) 補助金 82,000 円

事業名		東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	
概要	子どもたちが当市とゆかりのある東京藝術大学音楽学部教授 佐野 靖氏率いる演奏家と音楽交流をとおして、青少年の健やかな成長と音楽活動の推奨ならびに芸術・文化への関心を高める。		
計画	佐野教授と演奏家が学校訪問し、児童生徒の前で生の演奏を披露し、ワークショップを行う。	実績	訪問校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三田名部小学校 9月1日</li> <li>・関根中学校 9月1日</li> <li>・苫生小学校 9月2日</li> </ul>
予算	予算総額 913,000 円 (内訳) 報償費 280,000 円 旅費 348,000 円 消耗品費 33,000 円 食糧費 4,000 円 役務費 54,000 円 使用料 194,000 円	決算	決算総額 589,185 円 (内訳) 報償費 210,000 円 旅費 328,560 円 消耗品費 0 円 食糧費 6,625 円 役務費 0 円 使用料 44,000 円

事業名		民俗芸能の保存と伝承活動の支援	
概要	民俗芸能の保存及び団体育成事業など、伝承や推進を図る。		
計画	各団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団等助成金情報の提供 11件</li> <li>・伝統文化親子教室事業への申請採択 内容：田名部の山車行事祭囃子内習い</li> <li>・子ども民俗芸能大会出演団体への支援（県教委主催） 主演団体：小目名ひばの子子ども会</li> </ul>

【成果】

文化活動の振興充実において、市民の活動を支援して発表会場を提供したほか、普段触れることのない高水準な芸術鑑賞の機会として、民間の支援を受け特別料金でピアノリサイタルを実施。また、東京藝術大学出身者によるアウトリーチを実施するなど、鑑賞機会の提供を行い、芸術・文化活動の振興に寄与した。

地域に伝わる郷土芸能を伝承するため、国の補助金を活用した後継者育成を図った。



芸術鑑賞教室の様子

【課題】

- ・文化活動が自主的に発展、活性化していくためのサポート体制が必要である。
- ・高水準な文化・芸術にふれる機会について、民間助成の活用を図っていく必要がある。

(4) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名		文化財保護審議会の設置	
概要	文化財保護法の規定に基づき、むつ市における文化財の保存及び活用のため、むつ市文化財保護審議会を設置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例による定数：15名以内</li> <li>・ 会議開催回数：年2回</li> <li>・ 下北地方文化財審議委員連絡協議会（下文審）の構成団体として活動</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委嘱人員：15名 任期：平成25年12月1日～平成27年11月30日</li> <li>・ 文化財保護審議会会議：2回開催</li> <li>・ 下文審総会・前期研修会（むつ市）：10名</li> <li>・ 下文審後期研修会（むつ市）：11名</li> </ul>
予算	予算総額 880,022 円 (内訳) 報 酬 526,500 円 旅 費 320,522 円 消耗品費 16,000 円 負担金 17,000 円	決算	決算総額 473,427 円 (内訳) 報 酬 279,500 円 旅 費 165,927 円 消耗品費 11,000 円 負担金 17,000 円

事業名		自然環境調査事業	
概要	恵まれた自然環境を有するむつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少野生生物の生息を把握し情報発信する。		
計画	各種調査研究を行う ① 芦崎の自然調査（5回） ② 釜臥山自然調査 ③ 野鳥生態調査 ④ ウグイ遡上調査（5～7月） ほか調査の成果として文化財調査報告にまとめ発行する。	実績	各種調査結果 ① 5～7月、9月、2月の5回実施 ② 5～11月 ③ 各観測地での調査（通年） ④ 宇曾利山湖鳥ノ沢での調査（6～7月） ・ 文化財調査報告第43集発行（300部）
予算	予算総額 921,700 円 (内訳) 報 償 費 465,000 円 消耗品費 25,000 円 印刷製本費 421,200 円 食 糧 費 10,500 円	決算	決算総額 495,657 円 (内訳) 報 償 費 304,000 円 消耗品費 19,019 円 印刷製本費 161,676 円 食 糧 費 10,962 円

事業名		文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業																																																																									
概要	地域の貴重な文化財（遺跡、美術品、記念物等）を後世に伝承すべく、各種調査と保護管理に努め意識啓蒙を図る。また、特別天然記念物ニホンカモシカ、天然記念物下北半島のサル及びサル生息北限地について、文化財保護法の規定に基づき地域の実情を考慮した保護及び保存に努める。																																																																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知の埋蔵文化財包蔵地に関わる対応及び調査</li> <li>・文化財防火デーの実施</li> <li>・文化財パトロールの実施</li> <li>・ニホンカモシカの出没情報等の把握及び対応</li> <li>・特別天然記念物及び天然記念物に関わる手続き等を行う。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発関連予備調査（1件）</li> <li>・業者等による周知の埋蔵文化財包蔵地有無照会（89件）</li> <li>・文化財防火デー むつ地区：1月26日 防ぎょ訓練（常楽寺）、予防査察及び指導、注意喚起等 川内地区：1月27日 防ぎょ訓練（泉龍寺）等 脇野沢地区：1月28日 防ぎょ訓練（船小屋休憩所）</li> <li>・埋蔵文化財包蔵地（125件）、重要文化財並びに県指定文化財（3件）のパトロール</li> <li>・ニホンカモシカ 目撃情報：29件 滅失届出：15個体</li> <li>・下北半島のサル ①第3次特定鳥獣保護管理計画に基づく現状変更 （申請：5群、計236頭）：1件 ②工事関係等（申請）：1件</li> </ul>																																																																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>2,993,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>26,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>1,346,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>29,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>219,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>406,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>20,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>33,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>888,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>26,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	2,993,000	円	(内訳)			報酬	26,000	円	賃金	1,346,000	円	報償費	29,000	円	旅費	219,000	円	修繕料	0	円	消耗品費	406,000	円	印刷製本費	20,000	円	役務費	33,000	円	委託料	888,000	円	備品購入費	26,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>751,040</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>195,300</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>10,920</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>30,240</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>231,985</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>25,379</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>257,216</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	751,040	円	(内訳)			報酬	0	円	賃金	195,300	円	報償費	10,920	円	旅費	0	円	修繕費	30,240	円	消耗品費	231,985	円	印刷製本費	0	円	役務費	25,379	円	委託料	257,216	円	備品購入費	0	円
予算総額	2,993,000	円																																																																									
(内訳)																																																																											
報酬	26,000	円																																																																									
賃金	1,346,000	円																																																																									
報償費	29,000	円																																																																									
旅費	219,000	円																																																																									
修繕料	0	円																																																																									
消耗品費	406,000	円																																																																									
印刷製本費	20,000	円																																																																									
役務費	33,000	円																																																																									
委託料	888,000	円																																																																									
備品購入費	26,000	円																																																																									
決算総額	751,040	円																																																																									
(内訳)																																																																											
報酬	0	円																																																																									
賃金	195,300	円																																																																									
報償費	10,920	円																																																																									
旅費	0	円																																																																									
修繕費	30,240	円																																																																									
消耗品費	231,985	円																																																																									
印刷製本費	0	円																																																																									
役務費	25,379	円																																																																									
委託料	257,216	円																																																																									
備品購入費	0	円																																																																									



文化財防火デー 防ぎょ訓練の様子

事業名	重要文化財保存修理事業		
概要	「旧大湊水源地水道施設」及び「二枚橋2遺跡出土品」について、保存と活用のため各種調査、修理事業を実施する。		
計画	<旧大湊水源地水道施設> ・修理専門委員会の設置 委員：6名以内 任期：委嘱の日～事業完了まで ・修理に向けた調査・解析等業務委託 （平成26年度は2ヶ年度事業の初年度）  <二枚橋2遺跡出土品> ・指定品の保存修理業務委託 土器6点、石器3点 ・修理立会、指導監督	実績	<旧大湊水源地水道施設> ・修理専門委員会の開催 2回 委嘱委員数：6名 委嘱期間： 平成26年8月26日～完了の日 ・修理に向けた調査・解析等業務委託 総事業費： 100,685,524円 （うち国庫補助金：50,122,000円）  <二枚橋2遺跡出土品> ・土器7点、土偶1点（保存台製作含む）、石器3点の修理 ・修理立会（開始前、中間、最終） 総事業費： 3,345,564円 （うち国庫補助金：1,561,000円）
予算	予算総額 104,574,000 円 （内訳） 報 酬 78,000 円 旅 費 992,000 円 消耗品費 10,000 円 委 託 料 103,494,000 円	決算	決算総額 104,031,088 円 （内訳） 報 酬 65,000 円 旅 費 882,374 円 消耗品費 8,514 円 委 託 料 103,075,200 円

### 【成果】

- ・文化財の保護、保存と活用のため、様々な分野で調査研究が進められ、まとめとして調査報告書を刊行することができた。
- ・重要文化財「旧大湊水源地水道施設」については、保存活用計画に則り、今後の修理方法等を検討するための調査工事、修理専門委員会の設置など修理計画策定に向けた作業が開始できた。また、「二枚橋2遺跡出土品」については、今後の保存と活用に向けた修理修復作業を進めることができた。
- ・文化財保護の観点から、埋蔵文化財包蔵地等のパトロール、火災予防訓練等を実施し、包蔵地の不当な開発行為の抑止や所有者の文化財保護意識の醸成を図ることができた。

### 【課題】

- ・自然調査等に携わる調査員の後継者育成、発掘に努める必要がある。
- ・市内全域において特別天然記念物ニホンカモシカの滅失が多くなり、対応する職員の負担が大きくなっていることから、新たな体制を検討する必要がある。
- ・旧大湊水源地水道施設修理事業については、財政状況を勘案し担当部署とも協議しながら進める必要がある。



旧大湊水源地水道施設修理専門委員会

(5) 社会教育施設の整備

事業名		文化財収蔵庫の管理・運営	
概要	市内3ヶ所の文化財収蔵庫について、収蔵品の適正な保存をするため管理する。また、むつ地区においては、重要文化財指定品を収蔵していること、未整理の収蔵品もあることから、分析、整理作業と共にデータベース化を進めるため施設管理人を配置する。		
計画	<p>むつ地区：施設管理人の配置 見学者受け入れ、 データ化作業、収集、 整理、保管</p> <p>川内地区：民具整理作業 (6月～10月、2名)</p> <p>脇野沢地区：整理、保管</p>	実績	<p>むつ地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理人配置 1名</li> <li>・収蔵庫見学受入:延べ190名</li> <li>・資料寄贈 8件 ・資料貸出 4件</li> <li>・写真提供 9件 ・資料調査 5件</li> <li>・剥製室、古文書室燻蒸</li> <li>・監視カメラ設置、污水管改修工事</li> </ul> <p>川内地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民具等整理 作業員2名雇用</li> </ul> <p>脇野沢地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管、整理</li> </ul>
予算	<p>予算総額 11,498,000 円</p> <p>(内訳) 賃金 2,222,000 円</p> <p>報償費 10,000 円</p> <p>消耗品費 332,000 円</p> <p>電気料 3,128,000 円</p> <p>水道料 247,000 円</p> <p>修繕料 70,000 円</p> <p>通信運搬費 133,000 円</p> <p>手数料 391,000 円</p> <p>委託料 2,545,000 円</p> <p>使用料 25,000 円</p> <p>工事請負費 2,345,000 円</p> <p>原材料費 50,000 円</p>	決算	<p>決算総額 9,434,517 円</p> <p>(内訳) 賃金 2,087,436 円</p> <p>報償費 0 円</p> <p>消耗品費 306,906 円</p> <p>電気料 2,033,604 円</p> <p>水道料 208,622 円</p> <p>修繕料 0 円</p> <p>通信運搬費 107,733 円</p> <p>手数料 341,316 円</p> <p>委託料 3,455,740 円</p> <p>使用料 0 円</p> <p>工事請負費 893,160 円</p> <p>原材料費 0 円</p>

事業名		文化財展示場整備事業	
概要	本庁舎開放エリアを文化財等を展示・公開できる施設として整備し、文化財の有効活用を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の類似施設の調査・研究</li> <li>・展示レイアウト等の研究</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の類似施設の調査・研究</li> <li>インターネット等での情報収集</li> <li>・展示レイアウト等の研究</li> <li>課内でのレイアウト等検討</li> </ul>

【成果】

むつ地区文化財収蔵庫において、剥製や古文書等の燻蒸作業の実施や、収蔵品並びに寄贈品について、適正な保管に努めた。また、収蔵品を他市で開催される文化財展示会へ貸し出しするなど活用に努めた。

【課題】

- ・文化財展示場整備について、建設予算の計上が見送られたことから、今後の収蔵品の公開等活用方法を検討していく必要がある。
- ・各地区に収蔵庫が分散しているため、収蔵品の整理については、これまでどおり人員を確保し適正な管理を要する必要がある。

(6) むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営

事業名	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営		
概要	豊かな自然を活用して、地域住民の学びの場及び地域を担っていく子どもたちの総合学習の拠点としての役割に加え、県内外からの施設の利用促進を図るため、野外活動の専門的知識と活動のノウハウを持った民間団体を指定管理者とし、各種事業の実施及び施設並びに活動の情報発信を積極的に行っていく。		
計画	山口和雄所蔵貝殻コレクションの常設展示、その他企画展示	実	常設展示 ・世界の貝約100種 企画展示（主なもの） ・干支にちなんだ生きもの展 ・世界の切手
	海、川の生き物展示		企画展示 ・むつ湾の生きもの ・ふるさとの川の生きもの ・海の生きものの進化を知ろう
画面	親子、海 of 自然学校の開催	績	親子、海 of 自然学校 6月1日、8月2日・3日・9月6日・15日 参加者89名
	親子、山 of 自然学校の開催		親子、山 of 自然学校 荒天のため中止
	海 of 自然観察指導員養成講座の開催		海 of 自然観察指導員養成講座 カヌー、シュノーケリング、 救急蘇生法講習他 7月27日、 8月14日、15日、30日～31日、 9月14日、15日、21日、26日 参加者42名
	次期指定管理者の選定		次期指定管理者の選定 指定期間 平成27年4月1日～ 平成30年3月31日 指定管理者 NPO法人 シェルフォレスト川内 指定管理料 27,882千円（3ヶ年）
予算	予算総額 9,636,000 円 (内訳) 委託料 9,636,000 円	決算	決算総額 9,635,660 円 (内訳) 委託料 9,635,660 円

【成果】

指定管理者である「NPO法人シェルフォレスト川内」は、10年間の実績と幅広い人的ネットワークを利用した各種事業を展開している。テレビ、新聞等のメディアを利用し、市民のみならず市外の利用者の利用促進のため、積極的な広報を行なっている。また、利用者アンケートの結果をみると、事業内容に対する利用者の満足度は高い。

【課題】

当施設の運営は、館長1名のスキルに頼る部分があるため、後継者の育成が必要となる。

(7) むつ市下北自然の家の運営

事業名	むつ市下北自然の家の管理・運営		
概要	青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の振興に資することを目的に、宿泊型の体験施設を運営。平成26年度から指定管理者制度を導入することで、利便性の向上と利用者の増加を図り、安定した施設の運営を目指す。		
計画	施設利用者数 延べ11,000名 主催事業の実施 自主事業の実施 受入事業の実施	実績	施設利用者数：延べ 8,661名 ・主催事業の実施 21事業 延べ 551名 ・自主事業の実施 7事業 延べ 343名 ・受入事業の実施 110団体 延べ 7,767名 指定管理者 一般財団法人むつ市教育振興会
予算	予算総額 96,600,000 円 (内訳) 委託料 96,600,000 円	決算	決算総額 96,570,000 円 (内訳) 委託料 96,570,000 円

【成果】

指定管理者への移行については、トラブルもなくスムーズに移行できた。  
施設の利用を促すため、ホームページを作成したり、主催事業等のチラシを配布するなど、積極的な広報を行った。利用者が安全かつ快適に施設を利用するための維持管理に努めた他、職員のスキルアップのために研修会を徹底的に行った。

【課題】

施設利用者数が計画より下回った要因として、児童数の減少が考えられる。利用者の半数が小学生以下である中で、幼児・児童利用者数の大幅な増は見込めないことから、中学生・高校生及び成人向けプログラムの立案、館のPR方法等の検討をすすめなければならない。



むつ市下北自然の家

### 3 生きる力を育む学校教育の推進（担当課：学校教育課）

#### 【重点項目】

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学教育学部との連携強化
- (10) 文化・交流事業の充実

#### (1) 小中一貫教育の充実

事業名		小中一貫教育推進事業	
概要	義務教育9年間を通じた系統的な学習指導、生徒指導を実施し、次代を担う人づくりに資するため、小中学校間の連携・接続を図った教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させると共に、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	市内9つの中学校ブロックへ小中一貫教育の充実に資する研究を委託する。また、小中一貫教育意識調査を実施し、評価の基準を明確にする。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全9ブロックの研究実施計画書及び報告書の作成、配付</li> <li>・小中一貫教育意識調査の実施と報告書の作成・配付</li> <li>・小中一貫教育全国サミット会議出席（姫路市）</li> <li>・小中一貫教育大湊中ブロック公開研究発表会開催</li> </ul>
予算	予算総額 217,220 円 (内訳) 報 償 費 35,000 円 旅 費 52,220 円 委 託 料 100,000 円 負 担 金 30,000 円	決算	決算総額 174,960 円 (内訳) 報 償 費 28,000 円 旅 費 16,960 円 委 託 料 100,000 円 負 担 金 30,000 円

事業名		小中一貫教育学習支援員配置事業	
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、学習支援員として教員免許保持者を採用し各中学校ブロックに配置する。		
計画	乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、学習支援員として9中学校ブロックに10人を配置する。	実績	平成26年4月1日から平成27年3月31日の期間、10人の学習支援員を採用し、田名部中ブロック2人、むつ中、大平中、大湊中、関根中、近川中、大畑中、川内中、脇野沢中の各ブロックに1人を配置した。
予算	予算総額 21,319,788 円 (内訳) 報 酬 18,000,000 円 旅 費 3,319,788 円	決算	決算総額 19,119,141 円 (内訳) 報 酬 16,956,713 円 旅 費 2,162,428 円

事業名	小中一貫教育推進委員会開催事業		
概要	小中一貫教育の各ブロックの進捗状況について情報を共有し、むつ市教育プラン後期計画の下9つの各ブロック長と協議を重ね、より一層の推進を図るとともに、次期教育プランの作成に取り組む。		
計画	9つあるブロックの長による評価委員会を3回開催し、ブロックごとの成果と課題を確認し合い、次期むつ市教育プラン作成のために、これまでの小中一貫教育の総括を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回推進委員会 6/6 (金) 開催</li> <li>・第2回推進委員会 11/7 (金) 開催</li> <li>・第3回推進委員会 1/30 (金) 開催</li> </ul>
予算	予算総額 97,395 円 (内訳) 旅 費 97,395 円	決算	決算総額 99,023 円 (内訳) 旅 費 99,023 円

### 【成果】

- ・小中一貫教育導入の目的である学力向上、不登校児童生徒減少の両アクションプランの達成に大きく近づくことができた。また、校舎分離型の公开发表によって、本市の小中一貫教育の現状を把握することができ、今後の課題が明確になった。
- ・3回の推進委員会での話し合いを通して、各ブロック長が他のブロックの取組から自らのブロックで実施可能なものを工夫改善して生かしている。そのため、教員・保護者・児童生徒のアンケートでは、昨年よりも多くの項目で数値が向上してきている。



小中一貫教育大湊中ブロック  
公開研究発表会

### 【課題】

小中一貫教育学習支援員（以下、「支援員」という。）は、教員免許を所有していることが任用条件となっていることから、適任者の確保が難しい。また、学校側の要望と支援員の所持免許の教科が必ずしも合致しない場合があるものの、少人数指導や個別指導、複式学級解消のため、学校からの支援員の要望は多い。

そのため、各学校で取り組んでいる小中一貫教育を支援するための方法を再考する必要がある。

## （2）質の高い教育課程の創造

事業名	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向け、学校教育がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問（計画・要請）、初任者対象のふるさと研修を実施する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会・研修会を各1回開催、説明冊子を全教職員へ配付</li> <li>・全小・中学校への学校訪問とふるさと研修を実施</li> </ul>
予算	予算総額 244,000 円 (内訳) 需用 費 244,000 円	決算	決算総額 230,627 円 (内訳) 需用 費 230,627 円

【成果】

全小・中学校への計画訪問等を通じて、学習指導要領の趣旨を活かした適切な教育課程の編成と当市の教育課題解決に向けた取組について周知し、必要と思われる指導・助言を行うことができた。

【課題】

標準授業時数の確保、学習指導要領に対応した授業の構築、改善のための教員の研修時間の確保、個に応じた指導を充実させるための時間の確保等、教員に要求されることがさらに増大し、多忙化が進んでいる。多忙化に配慮しつつ、指導の方針と重点に沿った学校教育を一層推進させていく。

(3) 学力向上対策の充実

事業名		学力向上対策事業	
概要	児童生徒への学力検査の実施と分析を行い、児童生徒の学力の実態を把握し、学力の向上と教師の指導力の向上を図る。また、学力分析システムSYENの効果的な活用を図るため、研修会を実施する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市総合学力調査を小学校4年生から中学校3年生まで実施する。</li> <li>・学力調査の分析と課題解決を図るため、学力向上推進委員を委嘱する。</li> <li>・学力分析システムSYENの効果的な活用方法を通して教員の指導力向上を図る。</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に小学校4年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施</li> <li>・学力向上推進委員として、小学校教諭12名、中学校教諭15名に委嘱</li> <li>・8月に学力向上対策研修会を開催</li> </ul>
予算	予算総額 5,357,000 円 (内訳) 旅 費 0 円 需用費 457,000 円 委託料 4,900,000 円	決算	決算総額 5,200,670 円 (内訳) 旅 費 5,340 円 需用費 463,680 円 委託料 4,731,650 円

事業名		学力向上のための活用問題集作成事業	
概要	むつ市総合学力調査及び青森県学習状況調査の結果を踏まえ、むつ市の児童生徒の学力向上につながる実践的な問題集を作成し、各校での活用を通し、授業改善や学力の定着を目指す。		
計画	実施結果の分析後、学力向上推進委員が中心となり、児童生徒の学習の落ち込みを補完するための活用問題集を作成する。	実績	小学校6年生用4教科と中学校3年生用5教科の活用問題集を作成し、市内各小学校・中学校へ配付した。
予算	予算総額 562,000 円 (内訳) 需用費 157,000 円 委託料 405,000 円	決算	決算総額 532,980 円 (内訳) 需用費 127,980 円 委託料 405,000 円

【成果】

総合学力検査結果を分析し、児童生徒の落ち込み部分を把握することで、日常の授業の改善につながった。

また、児童生徒の基礎的・基本的知識技能の習得や活用及び、学習習慣の確立につながる活用問題集を作成することができた。

【課題】

各校においてはSYENを効果的に活用するところまで至っていないため、来年度は中学校ブロック（3校）で研修会を予定している。

活用問題集の利用状況を確認し、各校の学力向上につながるよう継続的に支援していく必要がある。

さらに、思考力、判断力、表現力を育成するため、基礎・基本を活用した問題への対策を講じる必要がある。



学力向上対策事業（研修会）

（４）生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名		生徒指導検査実施事業																					
概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>心理検査（「Q-U」：学級満足度及び学校生活意欲調査）を実施し、学級などの集団に不適応感を持っている児童生徒を早期に発見し対応することで、いじめや不登校暴力行為等の減少を図る。</li> <li>「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、心理検査に関する理論や活用の仕方を習得することにより教員の生徒指導能力の向上を目指す。</li> </ul>																					
計画		実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月に小学校5年生から中学校3年生までを対象に心理検査を実施 実施人数 2,902人</li> <li>分析会議4回、研修会1回開催</li> <li>報告書を作成して、むつ市内全小・中学校にPDFファイル版提供</li> </ul>																				
予算		決算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,013,000 円</td> <td>決算総額</td> <td>920,902 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 需用費</td> <td>21,000 円</td> <td>(内訳) 需用費</td> <td>15,225 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>962,000 円</td> <td>委託料</td> <td>873,440 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>0 円</td> <td>役務費</td> <td>2,237 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>30,000 円</td> <td>負担金</td> <td>30,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,013,000 円	決算総額	920,902 円	(内訳) 需用費	21,000 円	(内訳) 需用費	15,225 円	委託料	962,000 円	委託料	873,440 円	役務費	0 円	役務費	2,237 円	負担金	30,000 円	負担金	30,000 円
予算総額	1,013,000 円	決算総額	920,902 円																				
(内訳) 需用費	21,000 円	(内訳) 需用費	15,225 円																				
委託料	962,000 円	委託料	873,440 円																				
役務費	0 円	役務費	2,237 円																				
負担金	30,000 円	負担金	30,000 円																				

【成果】

心理検査「Q-U」を実施し、各学校における児童生徒の学級満足度や学校生活意欲度を把握し、児童生徒理解に努めることができた。

分析員を5名選出し、青森県総合学校教育センター教育相談課の指導主事を招き、担任している学級についてアセスメントを行い、学級経営の一助となった。（平成26年度1期分児童生徒指導状況報告書より、30日以上欠席 小学校4名、中学校21名）

【課題】

Q-Uは集団としての見取りが主であるため、児童生徒理解の観点からすると、個々の状態と集団の状態の両方を見取る調査に切り替えていくことが望まれる。

「むつ市いじめ問題対策委員会」を年1度（2月）開催し、現状についての評価と改善を行い、いじめの防止等のための対策を実効的に行う。

(5) 特別支援教育体制の充実

事業名		スクールサポーター配置事業	
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	26人を配置し、1日5時間50分をめぐり、年間1,185時間以内で活用する。	実績	26人を配置し、1日5時間50分をめぐり、年間1,185時間以内で活用した。 ・小学校：9校 20人 ・中学校：5校 6人 の配置
予算	予算総額 29,147,000 円 (内訳) 報酬 27,113,000 円 費用弁償 2,034,000 円	決算	決算総額 30,005,257 円 (内訳) 報酬 26,104,320 円 費用弁償 3,900,937 円

事業名		特別支援教育推進委員会開催事業	
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで、能力や特性に応じたきめ細かな指導が行えるようにするための特別支援教育に関する指導・助言や、適切な就学のための指導・助言及び総合判断を行う。また、学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。		
計画	年4回開催する。また、学校や保護者の要望により、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績	定期開催の特別支援教育推進委員会を4回開催すると共に、臨時の特別支援教育推進委員会を11回開催した。委員会の総合判断に基づき計48人の就学指導を行った。
予算	予算総額 882,000 円 (内訳) 報酬 190,000 円 費用弁償 579,000 円 需用費 38,000 円 役員費 75,000 円	決算	決算総額 432,951 円 (内訳) 報酬 99,500 円 費用弁償 283,499 円 需用費 43,092 円 役員費 6,860 円

事業名		就学指導説明会開催事業	
概要	市における就学相談及び就学指導の状況について理解を図り、未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所・保育園・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもってより充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。		
計画	市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所・保育園・幼稚園の就学相談担当者を対象に、就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。	実績	就学指導説明会・就学相談研修会を開催し、市内小・中学校特別支援教育コーディネーター等21人、保育所・幼稚園の就学相談担当者17人、及び他町村(大間町、東通村、風間浦村)の就学指導担当者3人が参加。就学指導の手続きの説明、就学相談における問題点についてのグループ協議や情報交換を行った。

【成果】

- ・スクールサポーターの配置により、特別な教育的配慮を要する児童生徒への支援が可能となり一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動が行われている。
- ・全小・中学校で特別支援教育コーディネーターが指名され、校内委員会が設置されている。
- ・特別支援教育推進委員会の総合判断をもとに、適切な就学が進められている。
- ・健康推進課やむつ養護学校教育相談部等との連携が図られ、早期の就学相談が進められている。
- ・学区毎に保育所・保育園・幼稚園と小・中学校の情報交換を行うことができ、連携の一助となった。

【課題】

- ・特別な教育的配慮を必要とする児童生徒は、個々の状況に応じたより適切な支援が必要であり、各学校からのスクールサポーター配置要望数も多い。そのため、配置を継続することが必要である。また、男女を含めた人材の確保と、資質向上のための研修等が必要である。
- ・適切な就学相談や教育的支援が行えるような校内体制の充実を図るため、各学校における特別支援教育コーディネーターの専門性を高めると共に、校内委員会を有効に機能させることが不可欠である。また、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用を更に充実させる必要がある。
- ・適切な就学を目指し、早期からの就学相談や各機関との連携の充実を図ると共に、幼保・小・中の連携強化をさらに推進していく必要がある。

(6) 教育相談活動の充実

事業名	むつ市教育相談室開設事業		
概要	いじめや不登校等悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに適応指導等を行うことによって、児童生徒の健全な成長を援助する。		
計画	むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設して、教育相談員を配置し、児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談               <ul style="list-style-type: none"> <li>来室 18件</li> <li>電話 14件</li> <li>家庭訪問 7件</li> </ul> </li> <li>・情報交換               <ul style="list-style-type: none"> <li>来室 38件</li> <li>電話 277件</li> <li>訪問 19件</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 2,827,000 円 (内訳) 報酬 2,487,000 円 報償費 60,000 円 旅費 200,000 円 需用費 80,000 円	決算	決算総額 2,871,642 円 (内訳) 報酬 2,486,400 円 報償費 84,000 円 旅費 259,230 円 需用費 42,012 円

事業名	教育相談支援員配置事業		
概要	不登校などの教育上の諸問題を抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、自立支援相談員とともに、適応指導教室に通室している児童生徒の支援にあたる。		
計画	教育相談支援員5人を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談支援員の学校派遣 小学校1校、中学校1校</li> <li>教育相談支援員による家庭訪問 1件</li> <li>適応指導教室通室生に対する支援</li> </ul>
予算	予算総額 5,223,000 円 (内訳) 報酬 4,752,000 円 旅費 436,000 円 役員費 35,000 円	決算	決算総額 4,676,460 円 (内訳) 報酬 4,464,240 円 旅費 177,970 円 役員費 34,250 円

事業名	適応指導教室開設事業		
概要	不登校または不登校傾向にある児童生徒に対し、学校不適応に対する指導と児童生徒一人一人が自分の生き方を自分の力で切り拓いていくための「自立への支援」を主たるねらいとして、むつ市教育相談室において、教育相談、体験活動、学習支援、集団活動への適応指導等を行い、学校復帰を目指す。		
計画	問題を抱える子ども等の自立支援相談員1人を配置し、不登校等の問題を抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>むつ市内及び他村の小中学生を通室生として受け入れ適応指導を行った。通室生…18名、日数…延べ1,602時間</li> <li>実施した行事等 始業式、終業式、調理実習、地層見学</li> </ul>
予算	予算総額 1,032,000 円 (内訳) 報酬 951,000 円 旅費 54,000 円 需用費 20,000 円 役員費 7,000 円	決算	決算総額 1,010,638 円 (内訳) 報酬 939,840 円 旅費 55,648 円 需用費 8,300 円 役員費 6,850 円

## 【成果】

- ・むつ市教育相談室開設事業については、教育相談に訪れた児童生徒の通学している学校と情報交換を密に行うことで、児童・生徒が抱える悩みや諸問題の解決に向けて学校と連携しながら支援することができた。  
弘前医療福祉大学教授小玉有子先生をスーパーバイザーとして迎え、スタッフの資質向上とよりよい相談室運営に資する多くのアドバイスをいただき、それを生かしながら教育相談や、児童生徒への支援に当たることができた。
- ・教育相談支援員配置事業については、適応指導教室に通室していた児童の再登校に向けて、当該児童の在籍校と連携を図りながら支援員の学校派遣を行った結果、当初は別室登校であった児童が教室に入って学校生活を送ることができるまでになった。  
適応指導教室において、自立支援相談員とともに、学校復帰を目標としつつ、通室生の状況に応じた短期目標を設定し、達成に向けた支援をすることができた。
- ・適応指導教室開設事業については、自立支援相談員を中心に通室生一人一人の実態に応じた支援を行うことができた。  
学校復帰を目標としつつ、その都度、通室生の状況に応じた短期目標を設定し、達成に向けた支援をすることができた。18名中1名が学校復帰を果たした。

【課題】

- ・むつ市教育相談室開設事業については、相談の主訴は不登校に関することが大半を占めているが、中には発達障害が疑われ、その二次障害が不登校という形で現れた子もいる。そうした子供についての進路相談をサポートするために、行政機関との連携や福祉サービス等について適切な情報提供ができる体制を、これまで以上に確固たるものにしていかなければならない。  
保護者や学校関係者のニーズに応えるために、教育相談室開設時間の延長や他町村での定期的な相談業務の展開を検討する必要がある。
- ・教育相談支援員配置事業については、学校に派遣している相談支援員の勤務時間が足りなくなる事態が想定されたため、1日の勤務時間や勤務日数を再調整しなければならなくなった。学校の実情に合わせた十分な支援を行うために、相談支援員の勤務時間についての見直しが必要である。
- ・適応指導教室開設事業については、通室生の中には発達障害の疑いのある児童生徒もおり、その子供の特性を的確に理解するためのより明確なアセスメントとそれに基づいた個別の支援計画の作成が必要である。  
集団適応のためのトレーニングや学校復帰に向けた支援を効果的に行うために、適応指導教室の開設時間延長と、長期休業中の開設が必要である。

(7) 国際化に対応する教育の推進

事業名		ジュニア大使派遣事業	
概要		むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルズ市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。	
計画		実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月7日～13日の日程で、中学生10人を7日間の行程で派遣した。</li> <li>・ 事前・事後研修会の開催及び報告書の作成を行った。派遣生徒の国際理解、交流が十分図られた。</li> </ul>
予算		決算	
予算総額 4,905,000 円 (内訳) 報償費 88,000 円 旅費 805,000 円 需用費 256,000 円 役員費 65,000 円 委託料 3,681,000 円 使用料 10,000 円		決算総額 4,301,837 円 (内訳) 報償費 87,916 円 旅費 753,475 円 需用費 205,114 円 役員費 23,633 円 委託料 3,227,035 円 使用料 4,664 円	

事業名		中華民国陽明國民中学との友好交流事業	
概要		旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中学生と教職員を受け入れ、学校訪問等を通して交流を図る。	
計画		実績	川内中学校において、姉妹校締結当時の関係者を招待し、20周年記念式典を行った。また、生徒会主催の歓迎会や授業参加等を通して交流を図った。
予算		決算	
予算総額 430,000 円 (内訳) 報償費 85,000 円 旅費 20,000 円 需用費 300,000 円 役員費 25,000 円		決算総額 329,266 円 (内訳) 報償費 64,852 円 旅費 19,420 円 需用費 244,994 円 役員費 0 円	

事業名	外国語指導助手（ALT）配置事業			
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、または、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。			
計画	ALT 4人のうち、小学校2人、中学校2人を配置し、外国語活動、英語科の授業において活用を図る。		実績	ALT 4人を配置し、小学校では外国語活動が必修となった5、6年生において、年間1学級当たり約25時間、中学校では約15時間活用した。
予算	予算総額 16,420,000 円 (内訳) 報酬 14,774,000 円 旅費 1,228,000 円 需用費 0 円 役務費 130,000 円 負担金 288,000 円	決算	決算総額 16,072,785 円 (内訳) 報酬 14,638,072 円 旅費 1,034,221 円 需用費 11,772 円 役務費 100,720 円 負担金 288,000 円	

### 【成果】

異文化理解について、ALTを活用した授業や国際交流事業を通じて体験的に行うことによって、英語に特定した語学力だけではなく、広い視野から文化の差異、日本の伝統的な良さ、言語の必要性やコミュニケーションの役割などに対する児童生徒の理解を深めることができた。

### 【課題】

国際理解教育の一環として、ALTを活用し、英語を用いて楽しむことができるような企画を考えていくことや、ALTの資質向上を図るため、独自の研修会の開催を検討する必要がある。



ジュニア大使派遣事業



陽明国民中学との友好交流事業

(8) 教育研修センター講座等の充実

事業名	教職員研修講座開設事業		
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を磨くために授業改善等に係る研修講座を開催する。		
計画	弘前大学教育学部との提携による授業づくり講座など18講座を開催する。	実績	延べ741人が18講座を受講し、指導力の向上が図られた。
予算	予算総額 436,000 円 (内訳) 報 償 費 240,000 円 旅 費 136,000 円 需 用 費 60,000 円	決算	決算総額 386,957 円 (内訳) 報 償 費 229,000 円 旅 費 105,297 円 需 用 費 52,660 円

【成果】

授業づくり講座は、児童生徒の学力向上に直結する内容であり、受講者からは概ね高い評価を受けることができた。また、「必修講座」「希望講座」の種類や各校からの受講申し込み方法も定着している。

さらに講座に関連した教員の自主的な「勉強会」も開かれるようになり、中堅教員の研修意欲の向上が見られた。

【課題】

引き続き、各校の教職員のニーズに応じた講座内容を工夫し充実させていくよう努めるとともに、講座受講を機会に、教育研修センターでの授業づくりについて教職員同士で情報交換・意見交換ができるような場を設定する。

また、講座内容や関連資料など受講者以外にも情報提供するために、教育系イントラネットを活用した体制を整備したい。

(9) 弘前大学教育学部との連携強化

事業名	教育研修センター講座等連携事業		
概要	弘前大学教育学部との連携による国語、算数・数学、社会、理科、外国語活動・英語の5つの「授業づくり講座」を実施。むつ下北の各小中学校から教員1名以上必修で参加し、思考力・判断力・表現力の育成に向けた活用型の授業の充実を図る。		
計画	平成25年度と同様に、5教科の授業づくり講座を開催し、テーマを活用型の授業づくりの研修会とする。 ただし、小規模校からの参加の必修には配慮する。	実績	・国語 : 58人 ・算数・数学 : 44人 ・社会 : 35人 ・理科 : 37人 ・外国語活動・英語 : 41人
予算	予算総額 436,000 円 (内訳) 報 償 費 240,000 円 旅 費 136,000 円 需 用 費 60,000 円	決算	決算総額 386,957 円 (内訳) 報 償 費 229,000 円 旅 費 105,297 円 需 用 費 52,660 円

事業名	弘前大学教育学部との連携による校内研修活性化事業		
概要	弘前大学教育学部との連携推進事業の一環として、むつ市内小中学校の校内研修推進における授業実践に弘前大学教育学部関係者が年間を通じて計画的・継続的に指導・助言に当たり、教員の授業力のアップ、資質向上とともに、児童生徒の学力向上を図る。		
計画	授業力向上のための校内研修の充実を図るため、弘前大学教育学部の教授等と苫生小学校とが連携し実践研究を進める。	実績	・中野博之教授を招聘した苫生小学校校内研修会…3回 ・弘大との連携による校内研修活性化事業公開発表…10月31日開催
予算	予算総額 100,000 円 (内訳) 委託料 100,000 円	決算	決算総額 100,000 円 (内訳) 委託料 100,000 円

事業名	弘前大学教育学部「ラボ・バス実験教室」		
概要	弘前大学との連携を進め、教職員の資質向上を図るとともに、地域が抱える教育課題の解決を図る。ラボ・バス <sup>※</sup> 実験教室では、化学実験を行うことを通して、科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。 ※ ラボ・バス：弘前大学が制作したバスで、「走る実験室」とも呼ばれ、電子顕微鏡等の科学機器を搭載し、県内各地で実験教室を開催している。		
計画	川内・脇野沢小学校を対象として、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績	・主な内容は、液体窒素を使った冷凍実験、電子顕微鏡を使った観察実験を実施した。 ・川内・脇野沢小学校5・6年生93人を対象として、川内小学校を会場に実験教室を実施した。
予算	予算総額 50,000 円 (内訳) 需用費 50,000 円	決算	決算総額 49,800 円 (内訳) 需用費 49,800 円

### 【成果】

- ・教育研修センター講座等連携事業については、むつ市教育プランにおける学力向上アクションプラン（平成23年度からの5年間で県学習状況調査の各教科ごとの通過率を5ポイント以上アップさせる）の実現に向けて活用型の授業づくりの研修を進めてきた。  
その結果、校内研修の一環として全員で参加する学校や習得だけでなく活用を図る研修に取り組む学校など、各校でも授業改善が進められ、昨年度の学習状況調査では中学校数学と英語でアクションプランが達成されている。
- ・弘前大学教育学部との連携による校内研修 活性化事業については、校内研修の充実に関して、苫生小学校に研究委託した結果、「授業における学び合い」がもたらす効果についての研修が積極的になされ、教職員の授業力が向上し、児童の学力向上が認められた。  
4か年の研究成果を発表する場として苫生小学校において公開発表が開催され、参加者にとってよい研修の機会となった。
- ・ラボ・バス実験教室では、電子顕微鏡など普段経験できない実験を提供してもらうとともに、大学生との交流などキャリア教育の面でもよい影響がもたらされた。



ラボ・バス実験教室の様子

【課題】

- ・教育研修センター講座等連携事業については、講座内容についての教職員のニーズを把握した上で、講義内容について関係講師と十分に打合せをして、講座をより一層充実させていく。講座内容や関連資料など、受講者以外にも情報提供するために、教育系イントラネットを活用した体制を整備したい。
- ・弘前大学教育学部との連携による校内研修活性化事業については、「校内研修の活性化」に向け、この2年間は「研究協議の持ち方」「授業における学び合い」に焦点化した研究が進められてきた。校内研修の位置づけとして、今後も授業力向上をねらいとした研究の深化を図るための組織的研究の場であるとともに、教職員が教育上の諸問題に対応するためのスキルを高める研鑽の場である事が求められる。そうしたとき、授業研究以外の研修において市内各校のニーズに応えるため、連携の幅を他大学・研究団体等にも広げていくことを検討する必要がある。
- ・ラボ・バス実験教室は市内全児童に対して提供できていない。

(10) 文化・交流事業の充実

事業名	むつ市児童生徒理科研究発表大会		
概要	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力の育成に資するため、むつ市児童生徒理科研究発表大会を開催し、理科教育の充実を図る。		
計画	大会に参加する児童生徒数の増員を図るため、呼びかけを強化する。(25年度の参加組数15組)	実績	小学校3年生から中学校3年生までの7組11名の参加があり、小学校3・4年、小学校5・6年、中学校の3ブロックで発表を行った。
予算	予算総額 32,000 円 (内訳) 旅 費 32,000 円	決算	決算総額 27,542 円 (内訳) 旅 費 27,542 円

事業名	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業		
概要	現代医学や科学の最先端技術に触れる機会を与え、中学生の医学、科学への興味・関心を喚起し、学習意欲を高めることにより、むつ市の未来を担う人材の育成を図る。		
計画	首都圏で開催される「ひらめきときめきサイエンス」事業を活用して、むつ市内の中学生に大学体験入学を実施する。 「むつ市子ども夢育成基金事業」を活用して行う。	実績	男子4人・女子1人の5人が早稲田大学主催の「踊るDNA2014」の講座を受講し、全員が興味を持って積極的に学び、その成果を平成26年9月17日の報告会で市長、議長等へ発表した。
予算	予算総額 470,000 円 (内訳) 旅 費 70,000 円 委 託 料 400,000 円	決算	決算総額 444,568 円 (内訳) 旅 費 72,240 円 委 託 料 372,328 円



夢はぐくむ体験入学事業の様子

事業名	むつ市子ども夢育成基金事業		
概要	むつ市の小中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子どもたちを育成するための安定的財源確保を目的に基金を設立する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市の小中学生の文化・芸能活動大会派遣補助</li> <li>・むつ市の小中学生のスポーツ活動大会派遣補助</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市の小中学生の文化・芸能活動大会派遣補助 2,366,600円</li> <li>・むつ市の小中学生のスポーツ活動大会派遣補助 3,400,300円</li> <li>・寄附金 4件 2,092,330円</li> <li>・利子収入 1,500円</li> <li>・平成26年度末基金残高 8,601,322円</li> <li>※平成25年度末基金残高 3,761,290円</li> </ul>
予算	予算総額 15,560,000 円 (内訳) 補助金 15,560,000 円 積立金 0 円	決算	決算総額 16,768,400 円 (内訳) 補助金 5,766,900 円 積立金 11,001,500 円

事業名	学校体育ダンス外部指導者活用事業		
概要	体育のダンス指導の時間に外部指導者を活用することで、生徒がダンスを通して積極的に運動に親しみ、健康な体をつくり、豊かな生活ができる資質を育成する。		
計画	むつ中学校 3学年 71名対象 (男子29名、女子42名) 年間5回 (1日2時間) 「文化祭を成功させる集い」で発表	実績	むつ中学校 3年 (71名) 第1回 平成26年9月5日 第2回 平成26年9月16日 第3回 平成26年9月30日 第4回 平成26年10月3日 第5回 平成26年10月10日 講師 各回毎に1名 「文化祭を成功させる集い」でステージ発表
予算	予算総額 184,000 円 (内訳) 委託料 184,000 円	決算	決算総額 184,000 円 (内訳) 委託料 184,000 円

### 【成果】

- ・むつ市児童生徒理科研究発表大会については、児童生徒の自由研究への取り組みを促すために、夏休み前に各学校にポスターを配付、掲示をお願いするとともに、理科を担当する教員への指導依頼を行うことや、さらに、メダルを授与することによって、ある程度の参加者を維持することができている。また、毎年必ずこの大会に参加することを目標に1年がかりで研究に取り組んでいる児童生徒もおり、児童生徒の理科の学力向上につながっている。
- ・むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業については、医学に興味を持つ5名が、早稲田大学主催の「踊るDNA2014」に参加し、大学院生と一緒にDNAの構造を学ぶことができた。むつ市では体験できない大学での講義に加え、首都東京を肌で感じることもできた。

- ・むつ市子ども夢育成基金事業については、大会出場経費の2分の1を補助することにより保護者の負担軽減が図られ、上位大会への参加がしやすくなっていることから、各種大会での成績向上につながっている。
- ・学校体育ダンス外部指導者活用事業については、講師の模範演技や指導の仕方が効果的であり、生徒は伸び伸びとダンスの授業に取り組んだ。運動部に所属していない生徒でも、約2時間の授業の中で、遅れを取ることもなく取り組むことができた。（「文化祭を成功させる集い」で3年生全員がステージ発表を行った。）

#### 【課題】

- ・むつ市児童生徒理科研究発表大会については、児童生徒にとって、継続して長期間にわたって研究に取り組むことは非常に難しいことである。そのため理科に興味があっても、何らかの働きかけやきっかけ等、心を動かす大きな出来事がなければ研究を始めようとはしない。したがって、そのようなきっかけ作りや指導者の育成が課題である。
- ・むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業「踊るDNA2014」の講座募集人員が30名（全国からの募集）であり、派遣数5名が限界である（6分の1 全体の約17%）。今後は、弘前大学と提携し、多くの生徒が大学での体験をできるようにする。



理科研究発表会の様子

- ・むつ市子ども夢育成基金事業については、東北、全国大会への参加者が増加していることから、支援のための補助金の額も多くなってきている。事業を継続していくためには、恒久的な財源対策が今後の課題である。
- ・学校体育ダンス外部指導者活用事業については、指導する教員へのダンス研修も定着していることから、次年度以降については外部指導者の活用は廃止の方向で考えている。

#### 4 公民館活動の推進 (担当課：中央・川内・大畑・脇野沢公民館)

##### 【重点項目】

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの充実

##### (1) 公民館の適正管理と運営の充実

事業名	公民館運営審議会の開催		
概要	公民館運営審議会委員は、教育委員会が委嘱し、館長の諮問に応じて公民館における各種事業の企画、運営について調査審議するもので、委員の定数は15人以内、任期は2年である。		
計画	公民館事業の計画・実施等について審議する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第172回むつ市公民館運営審議会の開催 開催日：平成26年4月16日 開催場所：中央公民館 講堂 出席者：運営委員 10人           事務局 10人</li> <li>・第55回青森県公民館研究フォーラムへ出席 開催日：平成26年9月25日 開催場所：つがる市生涯学習交流センター 出席者：運営委員 4人           事務局 1人</li> </ul>
予算	予算総額 248,000 円 (内訳) 報酬 150,000 円 費用弁償 86,000 円 需用費 12,000 円	決算	決算総額 140,836 円 (内訳) 報酬 91,000 円 費用弁償 44,836 円 需用費 5,000 円

事業名	むつ市少年教育指導委員会議の開催		
概要	少年団体を育成指導し、青少年の健全な成長を図るため、むつ市少年教育指導委員を設置し、少年教育に関し様々なアドバイスをするとともに、公民館の少年教育の事業にも参画する。		
計画	少年教育指導委員会を開催し、少年教育事業を推進する。 ジュニアリーダー研修会のプログラムの立案、及び研修での技術指導及び助言を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回少年教育指導委員会議の開催 開催日：平成26年6月4日 開催場所：中央公民館 出席者：指導委員 7人</li> <li>・第2回少年教育指導委員会議の開催 開催日：平成26年6月26日 開催場所：中央公民館 出席者：指導委員 7人</li> </ul>
予算	予算総額 240,600 円 (内訳) 報酬 156,000 円 旅費 84,600 円	決算	決算総額 125,478 円 (内訳) 報酬 84,500 円 旅費 40,978 円

事業名	館長会議・地区館長会議の開催		
概要	館長会議及び地区公民館長会議において、適正な公民館の運営についての協議を行う。また、年間の事業計画及び報告等も行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公民館長会議の開催</li> <li>・川内地区公民館長会議、大畑地区公民館長会議を開催し、年間の事業説明及び適正な地区公民館運営についての説明を行う。</li> </ul> <p>※平成26年度については、中央公民館長が各地区中央館の館長を兼務したことから、館長会議は開催しない。</p>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川内地区公民館長会議 開催場所：川内公民館 開催日：平成26年10月3日 出席者：地区公民館長 13人 事務局 3人</li> <li>・大畑地区公民館長会議 開催日：平成26年5月19日 開催場所：大畑公民館 出席者：地区公民館長 6人 事務局 3人</li> </ul>
予算	予算総額 1,000,531 円 (内訳) 報酬(年間) 937,000 円 旅費 63,531 円	決算	決算総額 993,252 円 (内訳) 報酬(年間) 936,600 円 旅費 56,652 円

事業名	公民館施設・設備の整備		
概要	生涯学習の拠点施設である公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）の適正な管理運営を行うとともに、市民に利用しやすい環境を提供する。		
計画	年間を通じて、市民に利用しやすい環境を提供するために、施設及び設備を適正に管理する。	実績	生涯学習の拠点として、多種多様な講座を開催したことが動機となって自主的な学習グループが育っており、活動拠点として積極的な利用がなされている。
計画		実績	各公民館の利用状況（回数及び人数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央： 1,664回（H25： 1,761回） 34,439人（H25： 30,912人）</li> <li>・川内： 225回（H25： 220回） 4,001人（H25： 4,310人）</li> <li>・大畑： 776回（H25： 834回） 10,317人（H25： 11,631人）</li> <li>・脇野沢： 415回（H25： 492回） 4,927人（H25： 4,279人）</li> </ul>
予算	予算総額 48,683,000 円 (内訳) 報酬 3,000,000 円 賃金 3,299,000 円 報償費 25,000 円 旅費 0 円 需用費 13,333,000 円 役務費 1,150,000 円 委託料 26,316,000 円 使用料 461,000 円 原材料 38,000 円 備品購入費 1,061,000 円	決算	決算総額 45,750,292 円 (内訳) 報酬 3,000,000 円 賃金 3,107,098 円 報償費 25,000 円 旅費 71,928 円 需用費 13,344,831 円 役務費 902,644 円 委託料 24,130,475 円 使用料 450,418 円 原材料 14,170 円 備品購入費 703,728 円

事業名	地区館の管理運営体制の確立		
概要	むつ市公民館条例第2条及び第3条で設置する地区公民館の管理運営を行う。		
計画	年間を通じて、市民に利用しやすい環境を提供するために、施設及び設備を適正に管理する。	実績	各施設とも老朽化が進んでいるものの、地域住民による自主的管理が行われており地域コミュニティの場として活用されている。 ・川内地区：14地区公民館 ・大畑地区：7地区公民館
予算	予算総額 3,814,000 円 (内訳) 報償費 90,000 円 旅費 30,000 円 需用費 2,222,000 円 役員費 398,000 円 委託料 501,000 円 工事請負費 533,000 円 原材料費 40,000 円	決算	決算総額 3,433,867 円 (内訳) 報償費 48,000 円 旅費 20,948 円 需用費 2,371,702 円 役員費 271,777 円 委託料 203,040 円 工事請負費 518,400 円 原材料費 0 円

### 【成果】

ジュニアリーダー研修会の参加人数が年々減少傾向にあったが、募集方法について少年教育指導委員会議に諮り、様々なアドバイスをいただき検討した結果、平成26年度は約50人の子どもたちが参加し、有意義な研修会が実施された。

### 【課題】

公民館施設の老朽化が進み、維持管理費の増額及び施設の修繕などが必要となってきた。市民が安心して利用しやすい環境を整えるためにも早急に対応を検討する必要がある。

また、地区公民館（川内地区・大畑地区）は、地域住民による自主的管理のもと、地域コミュニティの場として活用されているが、老朽化により破損の著しい部分も多く、早急な対応が必要となってきた。



中央公民館



川内公民館



大畑公民館



脇野沢公民館

(2) 公民館事業の推進

事業名		市民大学事業の充実																													
概要	市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応するとともに、豊かで活気のある生活の確立を目指す。																														
計画	むつ市民大学 ・公開講座：10回 ・ゼミナール：27ゼミ むつ地区：14ゼミ 川内地区：2ゼミ 大畑地区：6ゼミ 脇野沢地区：5ゼミ	実績	・公開講座：10回(H25：10回) 聴講者数：延べ552人(H25：604人) 登録者数：77人(H25：102人) 終了者数：44人(H25：88人) ・ゼミナール：27ゼミ(H25：28ゼミ) 登録者数：372人(H25：411人)																												
			内訳																												
画面		実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H26</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">むつ</td> <td>14 ゼミ</td> <td>15 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>190 人</td> <td>203 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内</td> <td>2 ゼミ</td> <td>3 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>15 人</td> <td>28 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑</td> <td>6 ゼミ</td> <td>6 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>88 人</td> <td>157 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢</td> <td>5 ゼミ</td> <td>4 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>79 人</td> <td>23 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>27 ゼミ</td> <td>28 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>372 人</td> <td>411 人</td> </tr> </tbody> </table>	地区	H26	H25	むつ	14 ゼミ	15 ゼミ	190 人	203 人	川内	2 ゼミ	3 ゼミ	15 人	28 人	大畑	6 ゼミ	6 ゼミ	88 人	157 人	脇野沢	5 ゼミ	4 ゼミ	79 人	23 人	計	27 ゼミ	28 ゼミ	372 人	411 人
			地区	H26	H25																										
むつ	14 ゼミ	15 ゼミ																													
	190 人	203 人																													
川内	2 ゼミ	3 ゼミ																													
	15 人	28 人																													
大畑	6 ゼミ	6 ゼミ																													
	88 人	157 人																													
脇野沢	5 ゼミ	4 ゼミ																													
	79 人	23 人																													
計	27 ゼミ	28 ゼミ																													
	372 人	411 人																													
予算	予算総額 1,786,000 円 (内訳) 報 償 費 995,000 円 旅 費 652,000 円 消 耗 品 44,000 円 使用料等 95,000 円	決算	決算総額 1,118,900 円 (内訳) 報 償 費 665,000 円 旅 費 331,891 円 消 耗 品 22,649 円 使用料等 99,360 円																												



ゼミナール（実用筆ペン）の様子



ゼミナール（パン作り）の様子

事業名	成人教育事業の充実		
概要	過疎地域における地域課題、生活課題への意識を高め、生活実践の学習活動をする。健康問題等への家庭教育を中心に学習する。		
計画	新田ふれあい学級 開催期間：平成26年4月から 平成27年3月まで 開催回数：10回 開催場所：中央公民館新田分館	実績	4月9日 開級式 8人 5月14日 野菜づくりについて 7人 6月11日 健康教室 6人 7月16日 施設見学（八戸キャニオン…八戸市方面） 14人 8月27日 料理教室 11人 9月10日 健康教室 9人 10月15日 昔の話（新田地区） 8人 11月12日 そば打ち教室 17人 12月10日 健康教室 7人 3月4日 閉級式 7人
予算	予算総額 121,000 円 (内訳) 報償費 24,000 円 旅費 14,000 円 需用費 3,000 円 使用料等 80,000 円	決算	決算総額 96,628 円 (内訳) 報償費 17,000 円 旅費 9,428 円 需用費 0 円 使用料等 70,200 円

事業名	婦人教育事業の充実		
概要	現代社会における家庭・家族の意味を考え、より豊かな人間性を育むための知識・技術を取得し、女性としての生き方を考える。		
計画	婦人学級の開催 ・むつ地区6学級 各地区で地域にあった年間事業計画を立て、それに沿って活動する。 他地区の婦人学級等との合同学習や女性団体の行事に参加し交流を深める。	実績	・むつ地区6学級（H25：7学級） ・学級長会議及び合同学習 4月17日 平成26年度の事業計画について 6月19日 学級長研修会 「ATV青森テレビ視察」 9月6日 合同学習会 「子ども防災キャンプ参加」 10月23日 合同学習会 「食事のバランスを考えた献立作り」 講師：坂本謙二氏 2月13日 学級運営について情報交換 ・郷土料理教室 10月10日 ほっかりんの混ぜごはん、 鮭のホイル焼き 他 10月17日 黒豆ご飯・けんちん汁他 10月29日 椿の巻きずし、きのこ汁他 11月5日 けんちん汁、かぼちゃのサラダ 他 ・むつ市女性団体連絡協議会の行事への参加 1月28日 市長と語る会 3月14日 女性のつどい
予算	予算総額 340,000 円 (内訳) 報償費 96,000 円 旅費 51,000 円 需用費 18,000 円 使用料等 175,000 円	決算	決算総額 114,507 円 (内訳) 報償費 65,000 円 旅費 37,410 円 需用費 7,977 円 使用料等 4,120 円

事業名	青少年教育事業の充実(子ども講座・お楽しみ会)		
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを図り、児童の健全育成を推進する。		
計画	子ども講座 ・夏休みや冬休み期間中、小学生を対象に実施  子どもお楽しみ会 ・幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施	実績	子ども講座 ・科学教室 開催日：11月16日 参加者：26人 ・パソコン教室 開催日：11月29日 参加者：8人 ・お菓子作り教室 開催日：12月20日 参加者：40人  子どもお楽しみ会 ・夏のお楽しみ会 開催日：7月13日 参加者：34人 ・冬のお楽しみ会中止 (衆議院選挙のため)
予算	予算総額 138,400 円 (内訳) 報 償 費 78,000 円 旅 費 33,400 円 需 用 費 27,000 円	決算	決算総額 88,061 円 (内訳) 報 償 費 70,500 円 旅 費 17,561 円 需 用 費 0 円

事業名	青少年教育事業の充実(ジュニアリーダー研修会)		
概要	むつ市少年教育指導委員規則に基づき少年教育指導委員を配置し、青少年の健全な成長を図るため、少年教育に関する諮問に応じる。また、教育機関等が実施する少年教育事業に参画し、少年団体活動の基礎的倫理と専門的な技術指導や助言を行い、子ども会活動などに活かすことができるジュニアリーダーとしての研修を実施する。		
計画	ジュニアリーダー研修会 少年教育指導委員会を開催し、ジュニアリーダー研修会のプログラムの立案及び、研修での技術指導及び助言を行う。	実績	・ジュニアリーダー研修会 開催日：7月5日～6日開催 場 所：下北自然の家 参加者：48人
予算	予算総額 403,000 円 (内訳) 報 酬 156,000 円 旅 費 115,000 円 需 用 費 112,000 円 役 務 費 10,000 円 使 用 料 10,000 円	決算	決算総額 311,624 円 (内訳) 報 酬 84,500 円 旅 費 57,787 円 需 用 費 142,837 円 役 務 費 12,600 円 使 用 料 13,900 円



青少年教育事業(ジュニアリーダー研修会)  
いかだづくりの様子

事業名	青少年教育事業の充実（子ども防災キャンプ）		
概要	災害時の避難所での生活や防災について学び、非常食体験やロープワーク等をグループで実施することで災害に備える気持ちを養う。		
計画	子ども防災キャンプ 中央公民館で災害時の避難所生活を体験し、防災について学ぶ。	実績	子ども防災キャンプの開催 開催日：9月6日～7日 場所：中央公民館 参加者：19人
予算	予算総額 94,720 円 (内訳) 報償費 48,000 円 旅費 26,720 円 需用費 20,000 円	決算	決算総額 90,755 円 (内訳) 報償費 3,000 円 旅費 3,081 円 需用費 84,674 円



青少年教育事業（子ども防災キャンプ）  
応急手当・AED体験の様子



青少年教育事業（子ども防災キャンプ）  
ロープワークの様子

事業名	家庭教育事業の充実		
概要	家庭と地域の絆を深め、子育てに関する情報提供や親同士の交流を図る機会や学習機会を提供する。また、子どもたちの思いやりの心を育てるため、豊かな恵まれた自然の中での体験活動、地域における生活体験や豊富な社会体験、異年齢集団での多彩な交流活動の場を提供するなど、子どもたちの学習機会の充実に努める。		
計画	青少年の「生きる力」を育むために各種体験学習を実施する。 ・自然体験活動の開催 ・社会体験活動の開催	実績	・自然体験活動 （日程の調整がつかず未実施） ・社会体験活動 （日程調整ができず未実施）

事業名		分館活動の充実																															
概要	市民が共に集い、学び合う場を提供し、市民全体の活気あふれる地域社会づくりを推進することを目的とする。																																
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館長会議を年度当初に開催</li> <li>分館地域づくり講座 (対象：16分館)</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館分館長会議 開催日：平成26年4月18日 開催場所：中央公民館 案件：平成25年度公民館事業報告について 平成26年度公民館事業計画について 分館地域づくり講座の説明</li> <li>分館地域づくり講座 大曲分館 開催日：平成26年5月25日 開催場所：中央公民館大曲分館 講座内容：畑と土と野菜づくり 参加者：23人 宇曾利川分館 開催日：平成26年12月17日 開催場所：中央公民館宇曾利川分館 講座内容：としなづくり 参加者：10人</li> </ul>																														
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>278,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>104,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>48,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>86,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>40,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	278,000	円	(内訳) 報酬	104,000	円	報償費	48,000	円	旅費	86,000	円	需用費	40,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>141,584</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>84,500</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>11,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>46,084</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	141,584	円	(内訳) 報酬	84,500	円	報償費	11,000	円	旅費	46,084	円	需用費	0	円
予算総額	278,000	円																															
(内訳) 報酬	104,000	円																															
報償費	48,000	円																															
旅費	86,000	円																															
需用費	40,000	円																															
決算総額	141,584	円																															
(内訳) 報酬	84,500	円																															
報償費	11,000	円																															
旅費	46,084	円																															
需用費	0	円																															

### 【成果】

- 青森県は全国一の短命県と言われており、むつ市でも健康に対して市民の関心が高まっていることから、市民大学では健康増進や平均寿命のアップを図る講座を開催した。また、防災に対して再認識すべく講演、地域の文化、むつ湾の生物など、市民ニーズに応えた幅広い分野を取り入れて好評を得た。また、「偉人・先人再発見講座」については、市民大学の「郷土史」の中に取り入れて実施した。
- 婦人学級は新規に入会する学級生が少なく高齢化しているが、学習意欲が旺盛で自主的に学習計画を立てて運営しており、他の学級との合同学習や女性団体の行事にも積極的に参加し交流が図られた。
- 子ども向け各種講座については、お菓子作り教室では、昨年度を上回るほど人気があった。また、パソコン教室、科学教室についても、小学生に公民館を身近に親しんでもらえた。お楽しみ会では、保護者も参加して楽しい一日を過ごし、保護者同士の交流も図られた。
- ジュニアリーダー研修会については、今年度から募集方法を変えて行ったところ50人弱の申込みがあり好評であった。
- 青少年教育事業については、今年度から新たに子ども防災キャンプを取り入れ、災害時の避難所での生活や防災について学び、非常食体験やロープワーク等をグループで実施することで災害時に備える気持ちを養った。
- 家庭教育事業については、日程調整で開催ができなかったが、子どもお楽しみ会には親子での参加が多数あり、アニメの上映や読み聞かせサークルの大型紙芝居の上演などで楽しい一日を過ごしており、親同士の交流も深まっている。

【課題】

- ・ 市民大学のゼミナールなどでは個々で学ぶだけでなく、講座に参加した人が、家庭で子や孫達と一緒に楽しめるような内容のものを企画したり、休日開催にすることで、より多くの家族の参加が期待できるのではと考えられる。
- ・ 婦人学級については、新会員が少なくなり、高齢化して解散するところも出てきている。学習意欲の旺盛な会員が長く学級を続けていけるよう、会員の増強を図ることについて適切な助言指導を行っていく必要がある。



成人教育事業（新田ふれあい学級）  
そば打ち教室の様子



青少年教育事業（子ども講座）  
お菓子作り教室の様子

（3）社会教育団体等の育成支援

事業名	社会教育団体の自主性・自立性の確立		
概要	社会教育指導員により、社会教育の特定分野について直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う。（特定分野：青少年教育・婦人教育）		
計画	中央公民館に配置した2人の社会教育指導員により、青少年教育及び婦人教育について、直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第39回むつ市婦人体育まつり 開催日：7月27日 場所：第二田名部小学校 参加団体：13団体、3施設</li> <li>・ 第36回むつ市婦人芸能発表会 開催日：2月15日 場所：下北文化会館 出演：17団体、4施設</li> <li>・ 下北連合婦人会事務局</li> <li>・ 下北地区子ども会育成連合会事務局</li> <li>・ 第30回下北地区子ども会郷土芸能発表会 開催日：2月1日 場所：下北文化会館 参加団体：7団体、61人</li> <li>・ 青森県子連ブロック研修会・指導者育成研究大会（下北地区） 開催日：10月19日 場所：中央公民館 参加者：19人</li> </ul>
予算	予算総額 1,307,000 円 (内訳) 補助金 1,307,000 円	決算	決算総額 1,271,700 円 (内訳) 補助金 1,271,700 円

事業名	サークル活動の推進								
概要	各地区の公民館の利用団体等が製作した作品の展示や、日頃の活動について実演を交えて紹介するなど、成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動のさらなる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。								
計画	公民館まつりの開催 公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実技指導を行い、市民の生涯学習(文化活動)の活性化を図る。 各公民館で開催する。	実績	中央公民館 開催日：平成26年8月30日～31日						
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>35団体</td> <td>33団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,038 人</td> <td>891 人</td> </tr> </table>		H26	H25	参加団体	35団体	33団体
	H26	H25							
参加団体	35団体	33団体							
来場者数	1,038 人	891 人							
計画		実績	川内公民館 開催日：平成26年10月25日～26日						
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>10団体</td> <td>14団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>662 人</td> <td>570 人</td> </tr> </table>		H26	H25	参加団体	10団体	14団体
	H26	H25							
参加団体	10団体	14団体							
来場者数	662 人	570 人							
計画		実績	大畑公民館 開催日：平成26年11月1日～2日						
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>25団体</td> <td>27団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>656 人</td> <td>520 人</td> </tr> </table>		H26	H25	参加団体	25団体	27団体
	H26	H25							
参加団体	25団体	27団体							
来場者数	656 人	520 人							
計画		実績	脇野沢公民館 開催日：平成26年11月2日						
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>8団体</td> <td>9団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>131 人</td> <td>153 人</td> </tr> </table>		H26	H25	参加団体	8団体	9団体
	H26	H25							
参加団体	8団体	9団体							
来場者数	131 人	153 人							
予算	予算総額 467,000 円 (内訳) 報償費 250,000 円 需用費 147,000 円 役務費 70,000 円	決算	決算総額 324,020 円 (内訳) 報償費 195,000 円 需用費 85,920 円 役務費 43,100 円						

事業名	女性の社会参加促進活動等の支援		
概要	女性団体の育成支援と自主運営を指導し、事業協力する。		
計画	むつ市女性団体連絡協議会（主催） ・市長と語る会 むつ市の現状や将来について語り合い、問題点や今後の方向性について、市長と意見交換を行う。 ・女性のつどい 市内の女性団体・グループが一堂に集い、お互いの理解を深めるための交流を持ち、それぞれの立場から、女性の地位向上を目指し、より豊かで、住み良い街づくりを考える。	実績	・市長と語る会 開催日：平成27年1月28日(水) 開催場所：中央公民館 参加者：18団体 97人
			・女性のつどい 開催日：平成27年3月14日(日) 開催場所：中央公民館 参加者：14団体 83人

事業名	社会教育指導員配置事業			
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、社会教育特定分野についての直接指導及び学習相談、社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。（特定分野とは青少年教育、婦人教育を指す。）			
計画	中央公民館に2人配置する。 青少年教育担当：1人 婦人教育担当：1人	実績	中央公民館に2人配置し、子ども会等少年団体の支援事務や各種こども講座の開催、婦人学級、婦人会や女性団体連絡協議会の事業を指導・支援し、青少年教育及び婦人教育の振興に効果的な役割を果たした。	
予算	予算総額 3,404,000 円 (内訳) 報 酬 3,111,000 円 旅 費 293,000 円	決算	決算総額 3,279,009 円 (内訳) 報 酬 3,110,400 円 旅 費 168,609 円	

### 【成果】

- ・各地区で実施された公民館まつりは、公民館を拠点に活動している地域の団体・サークル等の活動及び学習した成果の発表の場となっており、地域住民との交流が活発となった。
- ・社会教育指導員の指導助言を受け、婦人会や女性団体連絡協議会、婦人学級は活発に活動している。さらに、他地域との研修や交流を図りながら学習したことなどを通して、市政への貴重な提言も行っている。



サークル活動の推進（公民館まつり）  
中央公民館 サークル展示

### 【課題】

社会教育団体については、年々、会員数が少なくなっている。  
また、地区の子ども会を支援する育成者も少なくなっており、育成者の養成等、地区の育成連絡協議会等の連携が必要となっている。



下北地区子ども会郷土芸能発表会の様子

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名	下北地方公民館連絡協議会との連携			
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の募集作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施			
計画	<p>下北美術展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒の部 開催 (絵画、版画、書道)</li> <li>・高校、一般の部 開催 (絵画、写真、書道)</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒の部 出展数：3,153点 入賞者数：818点 本展：平成26年8月9日～24日 場所：中央公民館 移動展：平成26年8月30日～9月4日 場所：津軽海峡文化館アルサス</li> <li>・高校、一般の部 出展数：105点 入賞者数：42点 本展：平成26年10月3日～13日 場所：中央公民館</li> </ul>	
予算	<p>予算総額 510,200 円</p> <p>(内訳) 報償費 119,000 円 需用費 386,200 円 役員費 5,000 円</p>	決算	<p>決算総額 484,445 円</p> <p>(内訳) 報償費 113,000 円 需用費 338,722 円 役員費 32,723 円</p>	

事業名	大学等高等教育機関との連携			
概要	大学での講義・学園祭等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で味わうことにより、学ぶ楽しさの一層の充実を図る。			
計画	<p>市民大学一日体験入学 青森明の星短期大学一日体験入学</p>	実績	<p>青森明の星短期大学一日体験入学 開催日：平成26年10月19日 参加者数：25人</p>	
予算	<p>予算総額 86,400 円</p> <p>(内訳) 自動車借上料 86,400 円</p>	決算	<p>決算総額 99,360 円</p> <p>(内訳) 自動車借上料 99,360 円</p>	



下北美術展（児童・生徒の部）

事業名	社会教育団体との連携		
概要	夏休み期間中、ネブタ製作等に参加することにより、仲間づくりや創作活動を通じて、創造力と自主性、協調性を養うとともに豊かなふるさとの行事を意識させ、郷土愛を育てる。		
計画	子どもネブタ合同運行支援 田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・事業協力を行う。参加台数の減少及び少子化等に伴い子どもたちのネブタへの参加が少なくなっている中、ネブタに興味を持ってもらう。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市子どもネブタ運行委員会総会 開催日：平成26年6月7日</li> <li>・むつ市子どもネブタ合同運行補助 開催日：平成26年8月9日 参加台数：10台</li> </ul>
画面		実績	※「むつ市希望のまちづくり補助金（補助金 145,000円）」の補助対象となり、運営経費が補助されるようになった。公民館は人的援助をおこなった。

【成果】

- ・下北美術展については、本展（中央公民館）の他、町村部においても移動展を開催することが定着してきており、下北地域全域の芸術文化の振興に寄与している。
- ・子どもネブタ合同運行については、運営に係る会議において助言をするとともに、運行にあたり、出発式の会場設営や運行先導車と緊急車両としての先導、公道の交通規制の案内立て看板の設置・撤去等に協力した。

【課題】

子どもネブタ合同運行については、運行の中心となる子どもの数が減少し、支援する大人も少なくなってきたため、合同運行への参加台数も減ってきている。これらを踏まえ、運行委員会と連携を図っていかなければならない。



むつ市子どもネブタ合同運行

(5) 視聴覚ライブラリーの充実

事業名	下北地方視聴覚教育協議会との連携		
概要	中央公民館に、むつ市視聴覚ライブラリーを設置し、下北地方視聴覚教育協議会からの受諾金で多様化する視聴覚教材の整備・選定等についての協議を図り、視聴覚教育の振興を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下北地方視聴覚協議会総会等会議の開催</li> <li>・青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会総会等会議の出席</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下北地方視聴覚教育協議会総会 6月2日</li> <li>・下北地方視聴覚教育協議会会議 12月2日</li> <li>・青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会総会 5月26日</li> </ul>
予算	予算総額 5,000 円 (内訳) 旅 費 5,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 旅 費 0 円

事業名	視聴覚教育の推進		
概要	視聴覚教材の多様化にともない、整備する教材の研究を行う。		
計画	中央公民館に、むつ市視聴覚ライブラリーを設置し、下北地方視聴覚教育協議会から受託金を受けて視聴覚教材の教具・教材を購入し、貸し出し等を行い視聴覚教育の振興を図る。	実績	学校・保育園・社会教育団体等で活用できる視聴覚教材の購入とデータブックを発行し利用促進を図った。

事業名	視聴覚教具・教材の整備充実		
概要	学校教育・社会教育に必要なDVD教材・教具の充実を図る		
計画	学校・保育園・社会教育団体等が活用できるDVDの購入	実績	視聴覚教材の購入 DVD（4セット、10本） 内訳：幼児向けのアニメ 介護技術などの専門的なもの 健康に関するもの
予算	予算総額 300,000 円 (内訳) 備品購入費 300,000 円	決算	決算総額 286,934 円 (内訳) 備品購入費 286,934 円

事業名	視聴覚教具・教材の利用促進		
概要	教材目録の発行、広報等によるPR強化		
計画	視聴覚教材の利用促進を図るため、教材目録を作成し広報活動に努める。	実績	データブックの追録版を発行し管内公民館及び学校等に配布 ・データブックの追録版発行：150部 (新規DVDや寄付を受けた教材リストを掲載)
予算	予算総額 27,000 円 (内訳) 需用費 27,000 円	決算	決算総額 19,699 円 (内訳) 需用費 19,699 円

#### 【成果】

学校、保育所（園）で活用できるアニメ等の教材を購入するとともに、高齢化社会に伴い高齢者をとりまく状況が厳しくなる中、高齢者や介護者向けの教材も購入した。各公民館や学校等に追録分のデータブックを配布し利用促進を図っている。

#### 【課題】

以前、視聴覚教材としては16ミリフィルムが主流であったが、近年は安価なビデオカメラやDVDプレイヤーが普及して個人所有も増えてきており、教材はDVD等に切り替えて整備してきた。しかし、安価なDVDを個人で購入する機会も増えていることから貸し出し数が減少している。

このような現状から、視聴覚ライブラリーの必要性について検討する段階にきているものと思われ、国や県の動向について情報を把握し、上部団体の青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会と構成する他の地方視聴覚教育協議会の実情を踏まえ、今後の方向性について協議していく必要がある。

## 5 地域の教育・文化の向上発展（担当課：図書館）

### 【重点項目】

- (1) 図書館施設の適正管理
- (2) 図書館サービス活動の充実
- (3) 利用者ニーズに即した資料整備
- (4) 子どもの読書活動の推進

### (1) 図書館施設の適正管理

事業名	図書館施設・設備の保守管理業務委託		
概要	建築物の空調・消防施設・電源・セキュリティ・清掃委託、施設周辺の雑草駆除を含む植栽管理等、図書館を安全かつよりよい環境で利用していただくために、多岐にわたって業務委託を実施する。		
計画	<p>年間を通じ施設及び設備の適切な管理を業務委託し適正管理を行う。</p> <p>維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生管理業務委託</li> <li>・特殊建築物定期報告調査委託</li> <li>他 9 件</li> </ul> <p>図書館運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車運転・管理業務委託</li> <li>・貸出手続き確認装置保守管理業務委託</li> <li>他 3 件</li> </ul> <p>業務委託 16 項目</p>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生管理業務委託においては毎日清掃及びワックスがけ等の特別清掃を行い、施設の適切な維持管理を行った。</li> <li>・3年に一度の特殊建築物定期報告調査報告の審査結果は指摘事項なし。</li> <li>・移動図書館車運転・管理業務委託においては年間105日の運行を支障なく行い、車体の維持管理も適切に行われた。</li> <li>・貸出手続き確認装置の保守管理業務委託を本年度追加</li> </ul>
予算	<p>予算総額 19,926,869 円</p> <p>(内訳) 委託料 (維持管理) 17,400,520 円</p> <p>委託料 (図書館運営) 2,526,349 円</p>	決算	<p>決算総額 18,327,221 円</p> <p>(内訳) 委託料 (維持管理) 16,110,684 円</p> <p>委託料 (図書館運営) 2,216,537 円</p>



図書館全景

事業名	図書館施設・設備障害の改修及び修繕		
概要	施設全体について改善・改修箇所がないか点検し利用者の安全と安心に寄与する。また、業務委託に依存ではなく、図書館職員で可能な箇所の管理業務を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震時に書架から図書の落下を防ぐブックキーパーの設置（部分設置）</li> <li>図書館周辺に出没する「スズメバチ」対策の実施</li> <li>冬期間の避難道確保と正面の歩道及び駐車場確保の除雪</li> <li>照明器具修理交換</li> <li>AVブース機器交換</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各箇所降雪対策及び除雪の実施</li> <li>ブックキーパー設置 30箇所</li> <li>視聴覚ホールタッチパネル修理</li> <li>PC用非常用バッテリー交換</li> <li>トイレ便座修理</li> <li>照明器具安定器等交換</li> <li>ブラインド修理</li> <li>AVブース機器交換</li> <li>空調関連機器修理</li> <li>スズメバチ対策</li> </ul>
予算	予算総額 948,000 円 (内訳) 施設修繕費 150,000 円 電気器具修繕費 100,000 円 備品購入費 548,000 円 車両修繕費及び手数料 150,000 円	決算	決算総額 1,140,438 円 (内訳) 施設修繕費 255,258 円 電気器具修繕費 34,800 円 備品購入費 536,088 円 車両修繕費及び手数料 314,292 円

#### 【成果】

開館から14年が経過し、施設の修繕が必要な箇所が年々増加しているが、業務委託の保守点検で異常等を速やかに調査確認され、併せて職員の日常の見回り等で損傷等が小さいうちに修繕されている。

#### 【課題】

館内で部分的に照明が不十分な箇所があり、照明機器の増設が必要である。また、駐車場の拡大は必要であるが、現時点では土・日・祝日に借用している近隣事業所の駐車場の存在をPRしていく。年ごとに突発的な修繕箇所が増加している。

### (2) 図書館サービス活動の充実

事業名	図書館協議会の開催		
概要	図書館協議会は図書館法第14条項の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービス業務につき、館長に意見を述べる機関である。		
計画	条例による定数：10名以内 年度内4回の開催を予定	実績	図書館協議会委員10名委嘱 任期：H25.5.1～H27.4.30 第1回 6月27日：7名出席 第2回 11月26日：7名出席 第3回 3月24日：8名出席 委員の了解を得て1回減
予算	予算総額 411,920 円 (内訳) 報酬 260,000 円 旅費 151,920 円	決算	決算総額 219,373 円 (内訳) 報酬 130,000 円 旅費 89,373 円

事業名	図書館システムの運用について		
概要	インターネットを活用したクラウド方式のSaaS型図書館システムを運用し、図書館運営に活用している。※SaaS型 (Software as a Service)		
計画	図書館システム (SaaS型) 導入により利用者への貸出業務及び検索・予約の素早い対応が可能となる。	実績	利用者数 52,209人 利用冊数 170,333冊 予約件数 2,519件
予算	予算総額 5,701,404 円 (内訳) 委託料(図書館システム・機器保守料) 648,000 円 図書館システム使用料 2,073,600 円 コンピュータ機器借上料 2,461,404 円 TooLi借上料 518,400 円	決算	決算総額 5,701,404 円 (内訳) 委託料(図書館システム・機器保守料) 648,000 円 図書館システム使用料 2,073,600 円 コンピュータ機器借上料 2,461,404 円 TooLi借上料 518,400 円

事業名	図書館奉仕員の配置について		
概要	図書館奉仕員は、来館した市民が利用するカウンター業務の大部分を担う図書館運営において継続的雇用が必要不可欠であり、それによって培われたスキルを生かし、各種講習会・子ども向け教室を主催し、図書館サービスの向上を図る。		
計画	図書館奉仕員 (非常勤特別職) 12名を配置し、毎日の図書館カウンター業務の他、季節や受講者の年代等を考えた、利用者が楽しめる企画を計画し実施する。	実績	一般向け講習会 : 3回 工作教室 : 3回 こわいおはなし会 : 1回 その他 : 3回
予算	予算総額 19,908,264 円 (内訳) 報酬 18,662,400 円 旅費 1,245,864 円	決算	決算総額 19,593,505 円 (内訳) 報酬 18,662,400 円 旅費 931,105 円

事業名	移動図書館車の運行業務委託		
概要	図書館本館から遠隔地へ移動図書館車 (Book Mobile:BM) を運行し、図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	小学校、保育園、地区公民館や集会所等20ステーションに5月から12月まで毎週火～金曜日、年間 105日運行する。	実績	運行期間 : 5月2日～11月28日 105日運行 ※12月は返却のみの運行 利用人数 : 2,737人 貸出冊数 : 9,271冊
予算	予算総額 817,581 円 (内訳) 委託料 817,581 円	決算	決算総額 815,400 円 (内訳) 委託料 815,400 円

事業名	障害を持つ人へのサービス		
概要	視覚、聴覚、肢体等、様々な障がいがある方に対する、読書意欲を喚起するための支援を行う。		
計画	障がいがある方の図書館利用について、障がいの状況に応じた援助を実施する。	実績	・車いすの配備 (継続) ・大活字本 60冊 ・朗読CD 19点
予算	予算総額 180,000 円 (内訳) 備品購入費 (図書購入・大活字本) 180,000 円	決算	決算総額 205,285 円 (内訳) 備品購入費 (図書購入・大活字本) 205,285 円

事業名	むつ市詩歌コンクール		
概要	むつ市在住の児童・生徒・一般を対象に、詩・短歌・俳句・川柳の4部門において創作に対する関心を高め、読書と創作の接点を設けることを目的に実施する。		
計画	夏期に募集し年度内に表彰式、作品展示、文集作成を実施する。	実績	募集 : 8月1日～9月10日 表彰式 : 11月23日 作品展示 : (図書館) 11月22日～12月6日 応募作品数 : 2,751点 応募者数 : 1,894名 入賞者 : 298名
予算	予算総額 238,253 円 (内訳) 報償費 182,000 円 需用費(賞状用紙、展示用紙、用紙) 56,253 円	決算	決算総額 211,652 円 (内訳) 報償費 166,000 円 需用費(賞状用紙、展示用紙、用紙) 45,652 円

事業名	川島雄三映画上映会及び記念室の運営		
概要	図書館内に設置している川島雄三記念室を活用し、映画上映会や展示を開催する。		
計画	川島雄三監督映画上映会を開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>川島雄三監督映画上映会 6月7日～11日 5本上映 参加者 : 95名</li> <li>展示ホールにて映画ポスター展示 記念室付近で関連図書の展示</li> </ul>



むつ市詩歌コンクール表彰式



川島雄三シンポジウム

事業名	各種事業の開催(実技体験型)		
概要	図書館に親しんでもらい、読書意欲の向上と来館者の増加を目的に各種事業を開催する。		
計画	図書館奉仕員を講師とした一般向けのブックコート講習会及び本の修理講習会を実施し、図書館に親しんでもらう。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックコート講習会 開催日 : 6月26日 参加者 : 14人 開催日 : 2月19日 参加者 : 2人</li> <li>本の修理講習会 開催日 : 9月18日 参加者 : 1人</li> </ul>

事業名	各種事業の開催（上演視聴）		
概要	図書館に親んでもらい、読書意欲の向上と来館者の増加を目的に各種事業を開催する。		
計画	図書館展示ホール、あすなろホールを使用した気軽に楽しめるコンサートを開催したり、図書館所蔵のAV資料を使用し一般向けの映画の上映会を開催する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリーコンサート「詩の朗読と演奏」 開催日：7月19日 参加者：30人</li> <li>・ギャラリーコンサート「箏曲演奏会」 開催日：11月22日 参加者：77人</li> <li>・ギャラリーコンサート「ギターの調べ・懐かしのフォークソング」 開催日：12月20日 参加者：66人</li> <li>・日曜シネマ 月1回 12作品上映 延べ参加者：198人</li> </ul>
予算	予算総額 60,000 円 （内訳）使用料及び賃借料 60,000 円	決算	決算総額 64,800 円 （内訳）使用料及び賃借料 64,800 円

事業名	各種事業の開催（読書関連）		
概要	図書館に親んでもらい、読書意欲の向上と来館者の増加を目的に各種事業を開催する。		
計画	雑誌や本の無料配布を主体としたブックフェスティバルや毎月テーマを替えて展示する図書の特集展示、貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリー等企画した。	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックフェスティバル 開催日：10月26日 映画チラシ展示 無料配布 参加者：158名</li> <li>・スタンプラリー 開催日：10月27日～11月30日 カード配布数：651枚 景品配布数：しおり 216個 メモ帳 97個 ブックカバー 96枚</li> <li>・特別展示：35回（一般）</li> <li>・図書館福袋 12袋（各3冊） 1月4日から</li> <li>・ぬいぐるみお泊まり会 3月13日から</li> </ul>

### 【成果】

ブックフェスティバルやギャラリーコンサートは経費をかけず、来館者の増加に寄与している。むつ市詩歌コンクールは毎年参加を楽しみにしている市民も多く、好評を得ている。平成26年度から始まった月1回の映画上映会である日曜シネマは回数を重ねるごとに来場者が増加している。



ギャラリーコンサート「箏曲演奏会」



ぬいぐるみお泊まり会

【課題】

行事開催の広報は広報むつ、ポスター、館内チラシ、ホームページで周知しているが、より多くの参加者を募るため、新たな周知方法を考えていかなければならない。

図書館を適正に運営していくためには図書館奉仕員の継続的雇用は今後とも必要であり、経験年数に乗じた待遇改善も必要である。

(3) 利用者ニーズに即した資料整備

事業名		図書資料の購入																																								
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、AV資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応じていく。																																									
計画	<p>小説、哲学、歴史、社会科学（教育、経済等）、自然科学（動物、医療）、技術（料理、工学、産業、芸術）の全ての分野を網羅した選書を行う。</p> <p>年鑑、白書、統計等年度更新必要な資料を購入し、利用者からのリクエストに応じた購入を定期的に行う。</p>	実績	<p>一般 : 1,761冊</p> <p>児童 : 575冊</p> <p>郷土 : 49冊</p> <p>AV資料 : 57点</p> <p>利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>利用人数</th> <th>貸出数</th> <th>利用人数</th> <th>貸出数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>48,198</td> <td>157,648</td> <td>48,360</td> <td>154,959</td> </tr> <tr> <td>移動</td> <td>2,737</td> <td>9,271</td> <td>2,554</td> <td>8,419</td> </tr> <tr> <td>川内</td> <td>116</td> <td>286</td> <td>183</td> <td>488</td> </tr> <tr> <td>大畑</td> <td>916</td> <td>2,643</td> <td>1,274</td> <td>3,266</td> </tr> <tr> <td>脇野沢</td> <td>242</td> <td>485</td> <td>274</td> <td>622</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>52,209</td> <td>170,333</td> <td>52,645</td> <td>167,754</td> </tr> </tbody> </table>		H26		H25		利用人数	貸出数	利用人数	貸出数	本館	48,198	157,648	48,360	154,959	移動	2,737	9,271	2,554	8,419	川内	116	286	183	488	大畑	916	2,643	1,274	3,266	脇野沢	242	485	274	622	合計	52,209	170,333	52,645	167,754
			H26		H25																																					
利用人数		貸出数	利用人数	貸出数																																						
本館	48,198	157,648	48,360	154,959																																						
移動	2,737	9,271	2,554	8,419																																						
川内	116	286	183	488																																						
大畑	916	2,643	1,274	3,266																																						
脇野沢	242	485	274	622																																						
合計	52,209	170,333	52,645	167,754																																						
予算	<p>予算総額 4,970,000 円</p> <p>(内訳) 備品購入費(図書購入費) 4,970,000 円</p>	決算	<p>決算総額 5,016,037 円</p> <p>(内訳) 備品購入費(図書購入費) 5,016,037 円</p>																																							

事業名		郷土資料及び古文書の収集と情報の提供	
概要	郷土資料（郷土出身者、むつ市にゆかりのある人物を含む）を収集し、地域情報の集積機関としての役割を果たす。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規刊行される、むつ・下北関係資料については可能な限り収集する。</li> <li>収集していないものや絶版となっている資料についても古書店の情報や寄贈図書を受け入れるなど、可能な限り対応する。</li> <li>市や県が発行する行政資料の収集に努める。</li> </ul>	実績	<p>出版社や地元書店等から情報提供を受けながら資料の収集に当たった。</p> <p>購入 : 49冊</p> <p>寄贈 : 400冊</p>
	予算		<p>予算総額 220,000 円</p> <p>(内訳) 備品購入費(図書購入費) 220,000 円</p>

【成果】

図書資料のリクエストに対しては、図書の購入及び相互貸借等による他館との連携によりほとんど応えられる体制である。

【課題】

図書購入費については全ての分野を網羅した選書をしなければならず、必要な資料を揃えられない状態である。映像資料は許諾料上乗せのため1個当たりの単価が高額であり、市民の要望に答えられていない。映像、音楽だけではなく、障害者、高齢者のための朗読録音資料の継続購入が必要である。

(4) 子どもの読書活動の推進

事業名	児童図書資料の購入		
概要	児童図書の充実により、児童の図書利用の促進を図り、将来的な図書利用者の拡大につなげていく。		
計画	図書購入予算の中で絵本、物語等、分野ごとに選定して購入する。	実績	児童図書購入冊数575冊 (絵本：208冊・物語ほか367冊) 年度末に寄贈申し出のあった50万円分の図書は児童図書を希望(461冊)
予算	予算総額 400,000 円 (内訳) 備品購入費(図書購入費) 400,000 円	決算	決算総額 870,028 円 (内訳) 備品購入費(図書購入費) 870,028 円

事業名	子ども向け事業の開催		
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催し子どもの読書推進を図る。テーマを決めて図書の展示、季節に関連しての図書展示を行っている。健康推進課との共催事業により、幼児期から本に馴染む機会を提供する。		
計画	①毎週土曜日「おはなし会」 ②季節の「おはなし会」 ③「こわいおはなし会」 ④「夏休み子ども映画劇場」 ⑤「冬休み子ども映画劇場」 ⑥工作教室(万華鏡作り) ⑦工作教室(ペットボトルキャップ) ⑧工作教室(まつぼっくりツリー) ⑨児童の特別展示・季節の展示 ⑩ブックスタート 3歳児健診への協力 ⑪子ども見学ツアー	実績	①午後2時～2時30分 47回：283名 ②4月26日：18名 9月27日：21名 12月6日：19名 ③7月31日：82名 ④8月2日～9日：248名 ⑤12月21日～27日：60名 ⑥8月7日：31人 ⑦10月26日：10名 ⑧12月25日：12名 ⑨30回 ⑩乳児の図書館カード作成数：30名 3歳児検診時に絵本の閲覧 ⑪5月6日：9名

事業名	学校図書館への支援及び県立図書館の協力図書貸出事業		
概要	県立図書館の協力図書及び譲渡図書を活用し、学校図書館の充実に協力する。 (県立図書館の協力図書貸出し事業)		
計画	希望する学校へ県立図書館から借り受けた協力図書及び図書セットの斡旋を行う。 ・希望校に各500冊 ・図書セット貸出 低・中・高学年各1セット当たり20冊(前期・後期) 移動図書館が運休する冬期間、移動図書館所蔵資料の特別貸出を実施する。	実績	協力図書 : 4校 2,017冊 図書セット : 2校 12セット BM冬期団体貸出 : 1団体 97冊

事業名	学校からの見学・インターンシップの受入		
概要	市内及び郡内の小・中・高校から図書館見学・職場体験学習を受け入れる。		
計画	各学校と連絡調整し受入。	実績	・見学 幼稚園1園14名、小学校6校163名 ・職場体験学習 中学校3校9名、高校2校5名、 大学1校1名

#### 【成果】

学校の図書館見学、職場体験学習は、本に興味を持つ機会になり、キャリア教育にも有効であると好評で増加傾向にある。夏休みに図書館奉仕員が主体となり開催している「こわいおはなし会」は好評により毎年参加人数が多い。各種工作教室は奉仕員が主体となり様々な内容で行っており好評である。

#### 【課題】

職場体験学習は希望日時が重なり、全ての学校の希望受け入れができないので、日程の調整等が必要である。



こわいおはなし会の様子



職場体験学習の受け入れ

◇点検・評価対象一覧

施策		重点項目		事業名	頁	
1	ア	教育環境の整備促進	(1)	学校規模の適正化	児童生徒通学輸送事業	4
			(2)	安全・安心な学校施設の整備	脇野沢小学校建設事業	5
					関根中学校建設事業	5
					小・中学校非構造部耐震化調査改修事業	6
					その他小中学校の施設・設備の整備事業	6
					小学校教育用パソコン更新事業	7
					川内小学校校旗更新事業	7
	イ	活力ある学校教育の推進	(1)	教職員の適正・適切な配置	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	8
			(2)	通学区域制度の適切な運用及び再編	むつ市通学区域審議会	9
			(3)	学校規模の適正化に係る研究・検討	学校統合のための地域説明会等の開催	9
			(4)	就学困難な児童生徒等に係る就学援助	要保護児童生徒援助事業	9
					準要保護児童生徒援助事業	10
					特別支援教育就学奨励事業	10
			(5)	学校評議員制度の充実	学校評議員の管理	11
			(6)	幼稚園への就園奨励	私立幼稚園就園奨励費補助事業	11
			(7)	奨学金制度の充実	奨学金の貸与・返還の管理	12
			(8)	学校保健の充実	健康診断委託事業	12
学校医委託事業	13					
学校災害児童生徒医療費給付事業	13					
学校保健会補助事業	14					
学校災害入院補償事業	14					
学校給食の充実	15					
(9)	学校給食の充実	学校給食管理事業	16			
		学校給食衛生管理事業	16			
		学校給食厨房機器・用具整備事業	16			
		学校給食設備整備事業	17			
2	生涯学習の推進 文化の充実	(1)	生涯学習推進体制の整備と充実	社会教育委員の配置	18	
				社会教育指導員による学習支援体制の整備	18	
				弘前大学生涯学習講演会の開催	19	
				成人式の開催	19	
				学習情報提供システムの構築	19	
				あおり県民カレッジ情報の提供	20	
				放送大学むつ校の情報提供、利用充実に向けた講演会の支援	20	
				自然観察会の開催	20	
		(2)	家庭・学校・地域の連携促進	放課後子ども教室推進事業	21	
		(3)	芸術・文化活動の奨励と振興	むつ市文化団体等支援事業	22	
				東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	22	
				民俗芸能の保存と伝承活動の支援	22	
		(4)	郷土の文化遺産の保護・保存と活用	文化財保護審議会の設置	23	
				自然環境調査事業	23	
				文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業	24	
				重要文化財保存修理事業	25	
		(5)	社会教育施設の整備	文化財収蔵庫の管理・運営	26	
(6)	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	27			
(7)	むつ市下北自然の家の運営	むつ市下北自然の家の管理・運営	28			

施策		重点項目		事業名	頁	
3	生きる力を育む 学校教育の推進	(1)	小中一貫教育の充実	小中一貫教育推進事業	29	
				小中一貫教育学習支援員配置事業	29	
				小中一貫教育推進委員会開催事業	30	
		(2)	質の高い教育課程の創造	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業		30
				学力向上対策事業	31	
		(3)	学力向上対策の充実	学力向上のための活用問題集作成事業		31
				生徒指導の充実と関係機関との連携強化	生徒指導検査実施事業	32
		(5)	特別支援教育体制の充実	スクールサポーター配置事業	33	
				特別支援教育推進委員会開催事業	33	
				就学指導説明会開催事業	33	
(6)	教育相談活動の充実	むつ市教育相談室開設事業	34			
		教育相談支援員配置事業	35			
		適応指導教室開設事業	35			
(7)	国際化に対応する教育の推進	ジュニア大使派遣事業	36			
		中華民国陽明国民中学との友好交流事業	36			
		外国語指導助手（ALT）配置事業	37			
(8)	教育研修センター講座等の充実	教職員研修講座開設事業	38			
		教育研修センター講座等連携事業	38			
(9)	弘前大学教育学部との連携強化	弘前大学教育学部との連携による校内研修活性化事業	39			
		弘前大学教育学部「ラボ・パス実験教室」	39			
		(10)	文化・交流事業の充実	むつ市児童生徒理科研究発表大会	40	
むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業	40					
むつ市子ども夢育成基金事業	41					
学校体育ダンス外部指導者活用事業	41					
4	公民館活動の推進	(1)	公民館の適正管理と運営の充実	公民館運営審議会の開催	43	
				むつ市少年教育指導委員会議の開催	43	
				館長会議・地区館長会議の開催	44	
				公民館施設・設備の整備	44	
				地区館の管理運営体制の確立	45	
		(2)	公民館事業の推進	市民大学事業の充実	46	
				成人教育事業の充実	47	
				婦人教育事業の充実	47	
				青少年教育事業の充実（子ども講座・お楽しみ会）	48	
				青少年教育事業の充実（ジュニアリーダー研修会）	48	
				青少年教育事業の充実（こども防災キャンプ）	49	
				家庭教育事業の充実	49	
		分館活動の充実	50			
		(3)	社会教育団体等の育成支援	社会教育団体の自主性・自立性の確立	51	
				サークル活動の推進	52	
				女性の社会参加促進活動等の支援	52	
		(4)	生涯学習関連施設等との連携促進	社会教育指導員配置事業	53	
				下北地方公民館連絡協議会との連携	54	
				大学等高等教育機関との連携	54	
(5)	視聴覚ライブラリーの充実	社会教育団体との連携	55			
		下北地方視聴覚教育協議会との連携	55			
		視聴覚教育の推進	56			
		視聴覚教具・教材の整備充実	56			
5	地域の教育・文化の 向上発展	(1)	図書館施設の適正管理	視聴覚教具・教材の利用促進	56	
				図書館施設の保守管理業務委託	57	
		(2)	図書館サービス活動の充実	図書館施設・設備障害の改修及び修繕	58	
				図書館協議会の開催	58	
				図書館システムの運用について	59	
				図書館奉仕員の配置について	59	
				移動図書館車の運行业務委託	59	
				障がいのある方へのサービス	59	
				むつ市詩歌コンクール	60	
				川島雄三映画上映会及び記念室の運営	60	
				各種事業の開催（実技体験型）	60	
				各種事業の開催（上映視聴）	61	
		各種事業の開催（読書関連）	61			
		(3)	利用者ニーズに即した資料整備	図書資料の購入	62	
				郷土資料及び古文書の収集と情報提供	62	
(4)	子どもの読書活動の推進	児童図書資料の購入	63			
		子ども向け事業の開催	63			
		学校図書への支援及び県立図書館の協力図書貸出事業	64			
		学校からの見学・インターンシップの受入	64			